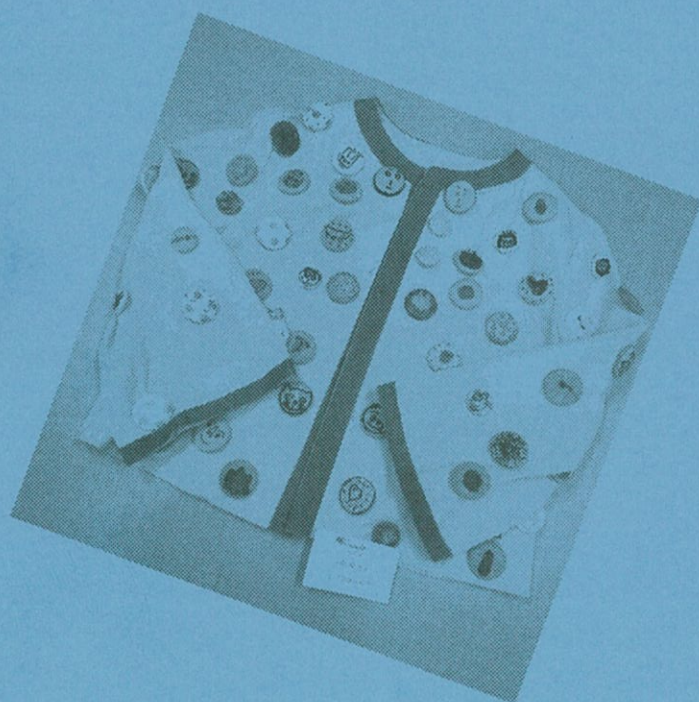
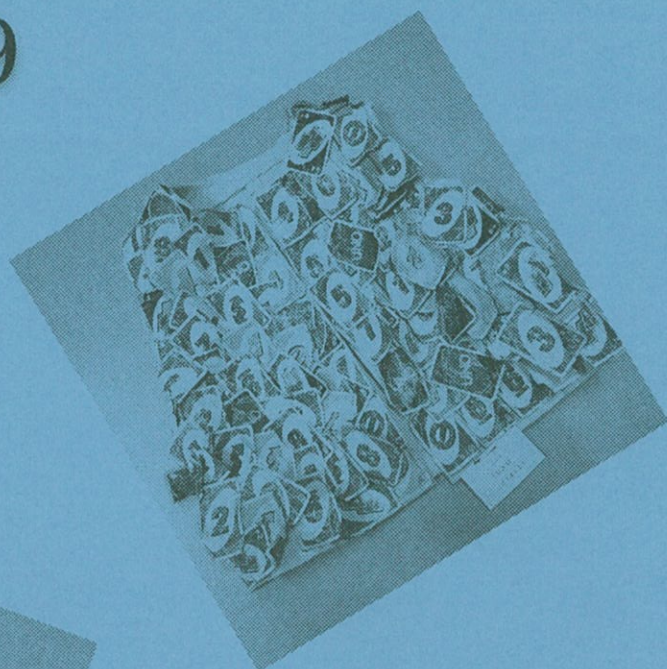


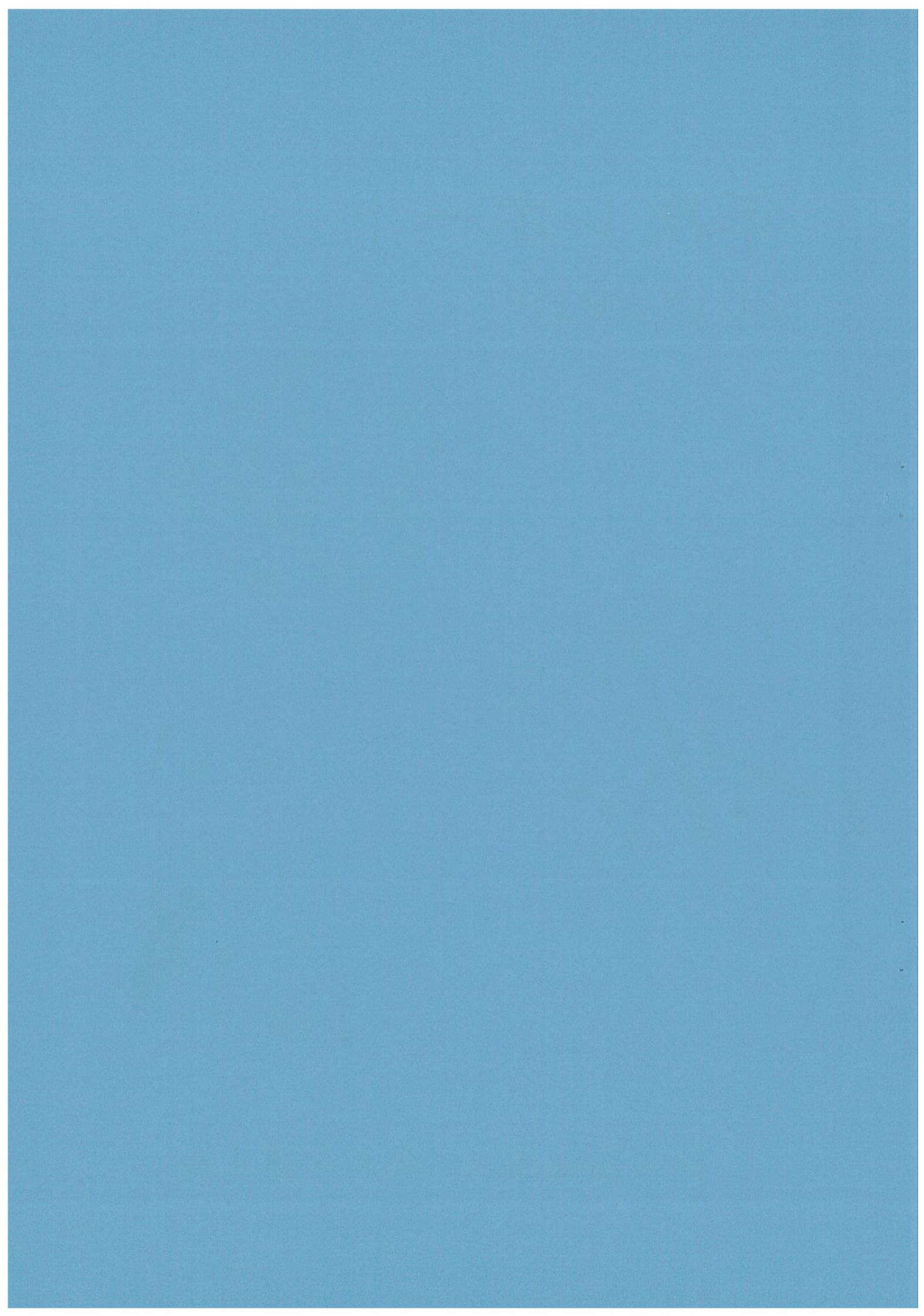
# 年次レポート

## 2018/2019



社会福祉法人 調布を耕す会





この瞬間を生きよう

私は最近「今、ここで、何が出来るか。」を自分に問うています。大事なのは「今」、つまりこの瞬間に「ここで」、つまり自分の置かれている場所で、皆のためにどんな良い事が出来るかということです。過ぎ去った過去や、これから来る未来より「今、ここで、何が出来るか。」が一番大事と考えています。

花は何も考えずにただ咲けばよいのです。花は咲くことに意味があります。「調布を耕す会」に集うメンバーが各自の個性に素直に行動することが自分の花を咲かせることになると思います。日々の仕事、四季折々の行事などで自分の花を咲かせてもらいたいです。

「調布を耕す会」も職員数の増加、将来構想、グループホーム、新規作業所、複雑化する社会情勢等の背景がある中で、しっかり運営の舵取りをしていきたいと思っています。その為にも「今、ここで、何が出来るか。」を瞬間瞬間考え、行動することがメンバーが花を咲かせることに繋がると確信しています。良い事の裏には悪い事が、悪い事の裏には良い事があります。あまり難しく考えずに自分の気持ちに素直に生きることです。耕す会の『今、ここで』を支えることが私の仕事です。やりがいに素直に感謝、感謝です。

今後とも、職員・メンバー・ファミリー・関係機関・ボランティアの皆様には、引き続きのご協力を心よりお願い申し上げます。

2019年8月

社会福祉法人 調布を耕す会  
理事長 原 良男



# 2018～2019

公益財団法人 社会福祉協議会

## ■写真で見るこの1年

### ■2018年度事業報告

- I. 生活介護「しごと場大好き」・分場「しごと場大好き国領」の運営……1
- II. 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営……6
- III. 共同生活援助グループホームDAISUKI・ユニット「パンプキン」の運営……10
- IV. その他の事業・活動……13
- V. 組織運営……14
- VI. その他プロジェクト……15

### ■2018年度決算報告

- ・資金収支決算書……16
- ・事業活動収支決算書……18
- ・貸借対照表……20

### ■2019年度事業計画

- I. 重点目標……21
- II. 生活介護「しごと場大好き」・分場「しごと場大好き 国領」の運営……21
- III. 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営……24
- IV. 共同生活援助グループホームDAISUKIの運営……29
- V. 共同生活援助グループホームDAISUKIパンプキンの運営……31
- VI. その他の事業・活動……33
- VII. 組織運営……34

### ■2019年度予算

- ・予算内訳表……35

### ◆資料

- 1年間の活動日誌……37
- 役員名簿……40



# 調布を耕す会 季節の交流行事



桜を見ながら楽しいひと時

春 お花見

夏 暑気払い



夏はみんなでわいわい。和気あいあい。

今年は秋の開催でした。  
秋の焼きそばも格別です！



秋 花火鑑賞会

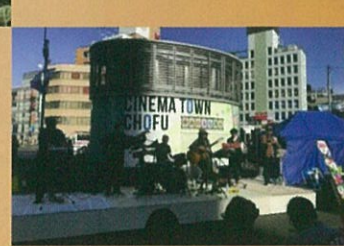
冬 餅つき

今年は約140名の  
参加がありました！





# ジャングルバザー2018

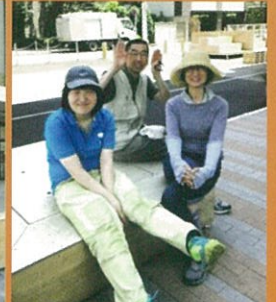
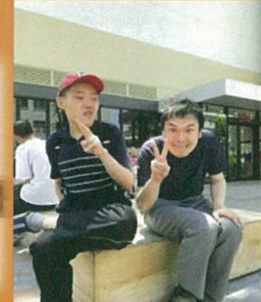


今年も調布の駅前を大いに  
にぎわせました！！



それはおしゃれなコンサート





みんな一緒に



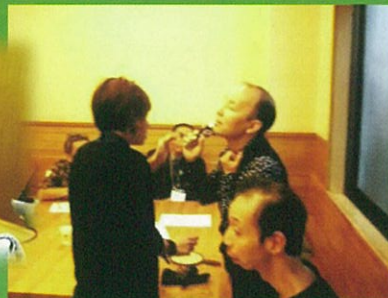




いつでも明るく楽しく！笑顔で元気！



## カフェ大好き



カフェ大好きは

今年で22年目を迎えました！





# グループホーム DAISUKI

GH DAISUKIは  
8年目を迎えました！



# グループホーム DAISUKI パンプキン 開所！



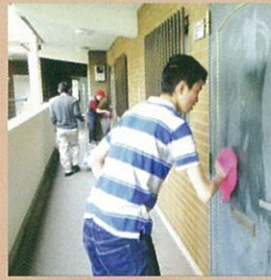
女性専用の  
グループホームが完成しました！  
和気あいあいとやっています！



# 作業紹介



定期清掃



コインリング・コンチョ



社会体験活動



メンバー会議

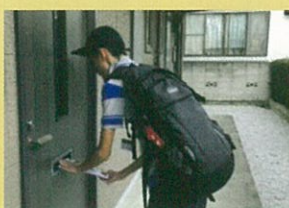
# しごと場大好き 国領



ウォーキング



調理実習と野菜ジュース作り



その他作業色々やっています 色々な所に行きました





運動会



夏合宿



冬合宿



# しごと場大好きの1年間

～今年もたくさんありました～



福祉祭り



成人を祝う会



大好き市



クリスマス会



**年間皆勤賞！！**



今年度は5名のメンバーが  
年間皆勤賞を受賞しました！  
おめでとうございます！！

**新メンバー**



三古さん

竹原さん

曾根さん

杉木さん



# 社会福祉法人調布を耕す会 2018年度事業報告

## I 生活介護「しごと場 大好き」・分場「しごと場 大好き 国領」の運営

### 【生活介護「しごと場大好き」】

#### 1. 事業運営

新たに分場として「しごと場大好き 国領」（以下国領とする）が開設されました。新卒者2名を含む5名の開所で、小規模の利点を活かし、きめ細かい個別支援のプログラムを中心にしながら相互交流を図り「しごと場大好き」との一体的運営を目指しました。事業所が増える事で入れ替わりや増員も含めメンバー、職員共に大きな配置転換となりましたが、関係者の相互協力の元に想定以上に落ち着いて1年を過ごし概ね一体的運営が実現しました。今後は、それぞれの事業所の個性を活かし、利用者個々により適した環境提供に注力していきます。

#### 2. メンバー処遇

国領のスタートに伴って、新職員が2名加わり配置転換をしながら個別支援の充実に努めました。想定していたメンバーの相互利用が実施され、作業種目の増加と共に外での作業提供機会を増やすことが出来ました。まだまだ課題は多いものの、前年度に比べ個々に適した作業環境の提供は一步前に進んでいます。年度当初は、グループホームの新設と国領の開設が重なる中でメンバーの混乱が懸念されました。確かに、職員配置転換や入れ替わりで年度途中まで支援体制に落ち着きのない様子も見られましたが、時間の経過とともに落ち着きを取り戻し、大きく乱れる事なく1年を過ごす事が出来ました。

##### (1) 生活支援

日常の活動やリハビリを通して、利用者の心身の健康保持と機能の向上に努めました。

##### (2) 創作活動援助

利用者の意思や個性・特性を尊重した創作活動を行いました。

##### (3) ケース会議 \*就労継続B型と合同実施

しごと場大好きに通所するメンバーの解決すべき課題を事例検討し、対応策を考え実践に生かす事を目的として定期開催しました。

###### ①日時

毎週水曜日 17:30～18:30（月例の職員会議、その他の臨時会議の日は除く）

###### ②対象者

しごと場大好き勤務の常勤職員

###### ③会議内容

ケース会議の進行はインシデントプロセス法をアレンジした形式で行いました。会議内容は①課題提案 ②質疑 ③検討 ④まとめとなります。

###### ④これまでの経過

2012年4月より開始し2018年度は21事例、現在までに194事例について検討してきました。一定期間ごと成果の是非を見直し、うち153事例が一定の解決が図られたと判断し終了しました。

#### 3. 活動内容

##### (1) 日常生活上の支援を提供

ADL（日常生活動作）が未自立な利用者に対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体



能力、日常生活能力の維持・向上に努めました。

## (2) 創作活動の機会の提供

陶芸、組みひもなど従来の創作活動に加えて、美術講師を招き、芸術活動の時間を設けてメンバーの新たな可能性を探っています。新たな製品も生まれています。

## (3) 簡易受託受注事業

封入封函、ポスティング等、新しい仕事にも積極的に取り組んでいきました。定期的な仕事も生まれています。

## (4) その他の事業

### ①社会体験活動（公共交通機関利用の実践／買い物実践）

年間を通して、毎週月曜日に社会体験に通ずる様々な活動を行いました。

### ②地域に根ざした活動（地域向けバザー／道路清掃）

毎週、水曜日と木曜日の午前中に利用者と職員で施設前道路の清掃を行いました。また、今年度も、地域向けに自由に参加できる餅つき会、大好き市を企画運営し、大勢の来場者がありました。しかし、望んでいるような地域への浸透には遠く新たな企画が求められています。

### ③受託事業（メール交換、散水清掃業務、クリーンセンター清掃）

就労継続B型部門、国領と合わせ合同で取り組みました。

### ④音楽療法（社会体験活動内）

今年度も、講師を招いて音楽療法を年5回行いました。メンバーはみな自由にのびのびと活動に参加し大変好評でした。次年度も継続して行います。

## 4. 防災計画

就労継続B型部門と合同で防災訓練を年2回実施しました。

9月 3日 地震発生想定避難誘導訓練 参加46名 国領との合同訓練

2月 4日 地震発生想定総合防災訓練、消防署立会いの下で水消火器、通報訓練参加48名

## 5. 日課

予定通りの日課を行いました。

## 6. 職員

2名の職員の退職に伴い2名の職員を採用しています。年間を通して、メンバー処遇に適切な職員配置を行い運営することが出来ました。また、今年度より保健所での健康診断から民間医療機関でのより詳しい健診へ変更しています。

## 7. 研修 \*就労継続B型と合同実施

今年度は、外部研修に加えて自施設メンバーの障害特性について共通認識を深めるため、3名の職員が講師となり全職員に向けて内部研修を行いました。共通理解の深まりがあり好評だったため次年度も継続して行きます。また、好評の福祉作業所連絡会の交換研修に今年度も積極的に取り組み4名の職員派遣と4名の受入れを行いました。

## 8. 運営資金

国領を組み込んだ運営となりましたが、概ね想定内の繰り入れの無い事業単独での運営ができました。



## 9. 第三者委員 \*就労継続B型と合同開催

具体的に利用者、家族から相談を受ける体制として、「大好き市」の際の相談会に加えて、昨年より実施の相談会「お話し聞きますよ」を年3回に増やし、引き続き第三者委員の伊藤氏に相談員として来所いただき開催しました。好評につき次年度も実施の予定です。

日時： 4月29日(祝) 13:00~16:00 相談者6名 三田氏、伊藤氏

日時： 7月31日(火) 13:00~16:00 相談者4名 伊藤氏

日時： 10月9日(火) 13:00~16:00 相談者3名 伊藤氏

日時： 1月22日(火) 13:00~16:00 相談者4名 伊藤氏

## 10. リスクマネジメント委員会 \*就労継続B型と合同開催

### (1) 総括

引き続き、施設長、カフェ大好き店長、主任2名の計4名でリスクマネジメント委員会を構成しました。定例会議12回、臨時会議1回、計13回の会議を開催しました。

東京都のガイドラインに沿った6本の柱(①報告制度の確立②委員会の運営③業務手順書(しごと場大好き手引書)の作成と活用④研修の企画実施⑤家族とのパートナーシップ⑥ケース記録の作成と活用)の成熟度を5段階で表し、各柱がレベル5に達する事を委員会のゴールと位置付け、各柱のレベル向上に取り組みました。

第7期(2012年度よりスタート)は、6本柱のレベルを1引き上げるための課題解決を中心に活動しました。

### (2) 活動内容

構成メンバー：施設長・カフェ大好き店長・主任2名(亀田・後藤・矢内・近田)

第1回 4月16日 前年度振り返り、年間スケジュール作成

**臨時①** 5月21日 かぼちゃプリンへの異物混入

第2回 5月28日 「ケース記録の作成と活用」について

**研修①** 6月22日 内部研修 - 自閉症の特性について

第3回 6月25日 「ケース記録の作成と活用」について

第4回 7月30日 「報告制度」について①、内部研修について、アルファ米試食会について

第5回 8月17日 「報告制度」について②、内部研修について、アルファ米試食会について

**研修②** 8月24日 内部研修 - メンバー(4名)の特性考察①

第6回 9月25日 「家族とのパートナーシップ」について、内部研修振り返り

第7回 10月23日 「家族とのパートナーシップ」について、災害備蓄品準備

**研修③** 11月21日 内部研修 - メンバー(4名)の特性考察②

第8回 12月17日 「業務手順書の整備」について、内部研修について、災害備蓄品準備

第9回 1月11日 「報告制度」について①、災害備蓄品準備

**研修④** 1月17日 内部研修 - 知的障害者支援の知識習得に向けて

第10回 1月29日 「報告制度」について②、災害備蓄品準備

第11回 2月18日 「研修結果の報告」について、年度振り返り

### (3) 活動成果

- ・内部研修実施(年4回)⇒上記、活動内容参照
- ・毎月のヒヤリハットおよび事故報告の対策とその後の検証スタート
- ・アルファ米試食会(8月31日)実施
- ・個別支援計画作成担当者見直し
- ・ケース記録記入時間の再設定



- ・ヒヤリハット報告・事故報告書式の簡略化
- ・食器棚のガラス飛散防止対策実施
- ・各事業所におけるヒヤリハット対策・事故対策の周知徹底策

#### (4) 結論

新たに生活支援職員を加え、施設長を含む職員4名で委員会を構成し、毎月の定例開催に加え、異物混入等における臨時委員会等、年間14回開催しました。防災備蓄品の整備、異物混入時の対応フローチャートの作成、みんなを守ろう委員会（虐待防止委員会）、ヒヤリハット報告の検証、6本の柱の目標値の設定等について話し合いました。昨年の反省を生かし、現状に対応した実践的な対策が話し合わせ成果があった1年でした。2019年度も現体制を維持し、第8期リスクマネジメント委員会として活動し、各柱レベル5へのアップを目指します。

### 11. みんなを守ろう委員会 \*就労継続B型と合同開催

2017年7月に発足して1年が経ちました。委員会は職員5名での構成で、2018年は3回会議を開催しました。年2回、全職員にアンケートを実施し、今何が問題なのかを把握し、アンケートを実施することで日々の言動を意識し振り返る機会になるよう努めました。法人理念が職員に周知徹底するよう、職員会議の議事録確認時に復唱しています。

## 【生活介護 分場「しごと場大好き 国領」】

### 1. 事業運営

前年度、中長期計画にあった新事業所開設の計画が本格化し、調布市の開設準備経費を活用し、「しごと場大好き」分場として、「しごと場大好き 国領」（以下国領とする）が2018年4月1日に開所しました。開所当初は職員配置が不安定な面もあり課題も少なくない状況でしたが、配置が安定してからは落ち着いた運営となりました。一方で、利用者の対応などでは、本場、国領別々の課題として捉えるのではなく、一体感をもって同じ姿勢で向き合う事ができる関係性の構築が必要だと考えています。

### 2. メンバー処遇

「しごと場大好き」より3名、新卒のメンバーを2名加えた5名のメンバー一人ひとりの日々の生活能力の維持と発展を目指しながら、個々に応じた細やかな作業提供を行いました。また、職員間の話し合いを通して、メンバーの選択肢が広がる様に本場と国領を相互利用できるように取り組んでいます。開所当初は、毎日出勤する事が困難なメンバーが居たり職員配置が不安定だったり、充分行き届いた支援という点では課題がありました。しかし、時間の経過と共に職員配置も安定し、メンバー一人ひとりに行き届いた支援をしていく為の意見交換が自然と行われるようになりました。まだまだ、日々手探りなところが多く課題も少なくありませんが、当初からの想定である少人数の落ち着いた環境作りをさらに進め、メンバーの出来る事を一つでも増やす支援を続けていきたいと考えています。

#### (1) 生活支援

日常の活動や社会体験活動（コミュニケーション・運動・余暇・移動交通）を通して、利用者の心身の健康保持と生活機能の向上に努めました。

#### (2) 創作活動援助

利用者の意思や個性・特性を尊重した創作活動に加えて、正月や節分など季節の行事に因んだ製作・調理実習などを行いました。



### 3. 活動内容

#### (1) 日常生活上の支援を提供

ADL（日常生活動作）が未自立な利用者に対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上に努めました。

#### (2) 創作活動の機会の提供

外国のコインを加工し、リングやヘアゴムの作成を行いました。また、リサイクル（コルク・牛乳パック）でキーホルダーや紙すきに取り組んで、紙すきで作ったコースターはカフェ大好きに納めています。その他に、アクセサリー作家の依頼を受け、麻の皮を割いてフリンジの作成もしています。

#### (3) 簡易受託受注事業

しごと場大好きと分け合いながら、ポスティング等の仕事に積極的に取り組みました。

#### (4) その他の事業

##### ①社会体験活動（コミュニケーション・移動交通・余暇・運動）

年間を通して、毎週金曜日に課題を変えて社会体験に通ずる様々な活動を行いました。

##### ②地域に根ざした活動（道路清掃）

毎日午前中に利用者と職員で施設前道路の清掃を行いました。地域の交流事業は独自に行っておりませんが、しごと場大好きが主催する行事に参加をしています。

##### ③調理実習・味噌汁作り

毎週金曜日にメンバー会議を開き、調理実習のメニューを話し合います。決まったメニューを翌週の月曜日に調理します。味噌汁作りは毎日利用者と職員が当番制で行なっています。

### 4. 防災計画

しごと場大好きと合同開催

### 5. 日課

予定通りの日課を行いました。

### 6. 職員

基本的に3名の職員配置をしました。

### 7. 研修

しごと場大好きと合同開催

### 8. 運営資金

しごと場大好き会計に組み込み運営しています。

### 9. 第三者委員

しごと場大好きの相談会に参加しています。

### 10. リスクマネジメント委員会

しごと場大好きと合同開催



## 11. みんなを守ろう委員会

しごと場大好きと合同開催

## II 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営 【就労継続支援B型「しごと場大好き」】

### 1. 事業運営

生活介護部門では新たに分場として「しごと場大好き 国領」が開設され、B型も含めたメンバー、職員の大きな配置転換がありました。そうした中で新卒者2名と職員2名が加わりメンバーの混乱も予想されましたが、想定以上にうまく溶け込み無事に新しい体制での1年を終えることが出来ました。就労支援事業では、職員の入れ替わりもあり菓子製造部門とアイスクリーム部門、喫茶部門が減収となったものの、自主製品の増収や受注作業の増加、経費の削減などもあり9年連続で工賃額をアップとすることが出来ました。また、昨年課題となった食品の衛生管理については、食品表示の法改正を控え、一層の注意と対策が必要になります。

### 2. メンバーの処遇

色々と変化の多い1年ではありましたが、メンバー、職員の相互協力で全般に安定して通い年間での皆勤者は20%となりました。また、就労支援部門では、生活介護部門と併せて作業種目は少しずつ増えて仕事の幅は広がっています。その中でも、新たにクリーンセンターの清掃作業を施設外就労として請負いました。定着しつつあり今後の展開に可能性を感じています。

#### (1) 生産活動援助

菓子製造、アイス製造、喫茶事業については職員の入れ替わりがあり、生産量が減少して売り上げも伸びませんでした。自主製品の売り上げ、受託作業の増加、経費の削減で何とかカバーすることが出来ました。結果的には平均工賃をアップさせる事に成功しました。

#### (2) 生活指導

利用者の立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めました。

#### (3) 職業訓練指導

日々の活動の中で、就労に必要な知識及び能力の向上に努めました。

### 3. 生産活動内容

#### (1) 受託事業

地域貢献に繋がる調布市関連の委託事業を通して、仕事に対する誇りと責任を培いました。収益性において生産活動の柱となっています。新たに施設外就労の形で新設のクリーンセンターの清掃作業を受託し定着しています。東京都の水道メーター分解作業は、今年も昨年同様の作業提供がありましたが、1, 2年の内に仕事が無くなる可能性が示唆されており、3市合同の取り組みとして今後の展開を考える時期にきています。

#### (2) 自主製品事業

陶芸、組みひもについては、昨年に続いて都設置の福祉ショップ「KURUMIRU」での販売が売り上げに大きく貢献しています。「KURUMIRU」は製品管理など更に厳しく取り組み、商品の品質を高めようとしています。これに習い品質を高めて扱い量を増やす事を目指しましたが、実現には至りませんでした。



### (3) 喫茶事業

駅前商店街での喫茶店（カフェ大好き）、福祉ショップ営業での仕事を通して一般就労に必要な知識、能力を養いました。今年度は大幅なリニューアルを行いました。

### (4) 食品加工事業

カフェ大好きでの販売食品（カレー、スープなど）の製造、クッキー、シフォンケーキ、かぼちゃプリンなど焼菓子の製造、加工、販売。ジェラートの製造、加工、販売を行いました。製造担当者の入れ替わりから生産量が落ちて、日々手さぐりで受注に応える事に精一杯でした。幸いにも年度終盤に市内飲食店2店舗からかぼちゃプリンの定期発注があり、今後に期待を抱かせる展開となっています。しかし、次年度中に調布市役所の売店が閉鎖と決まり、コンスタントに売り上げていた大きな販路の減少は痛手です。新しい販売箇所の開拓が必要です。

### (5) ケータリングカーでのジェラート・菓子販売

主に調布北口駅前での定期販売、各種イベント販売、児童館、市民プール等への出張販売を行いました。音楽を流したり、メガホンでの呼びかけ、テーブルを前に出して目線を低くして販売する、ポップを使って目立たせるなどの工夫をし、1日1万円を目標にしました。目標には届かず、次年度への課題となります。

## 4. 防災計画 \*生活介護と合同実施

生活介護部門と合同で防災訓練を年2回実施しました。

9月 3日 地震発生想定避難誘導訓練 参加46名 国領との合同訓練

2月 4日 地震発生想定総合防災訓練、消防署立会いの下で水消火器、通報訓練参加48名

## 5. 日課

予定通りの日課を行いました。

## 6. 職員

菓子製造を担っていたベテラン職員が退職し新たに2名の職員を採用しました。

## 7. 研修 \*生活介護と合同実施

## 8. 運営資金

年間を通して、安定した財政状況でした。

## 9. 第三者委員 \*生活介護と合同開催

## 10. リスクマネジメント委員会 \*生活介護と合同開催

## 11. みんなを守ろう委員会 \*生活介護と合同開催



## 【出張所「カフェ大好き」】

調布市多摩川5-7-4京王多摩川88ビル1F

### 1. 事業運営

法人の中長期計画である店舗リニューアルにむけて取り組んだ一年でした。年度末ぎりぎりの完成になってしまいましたが、6名の職員によるプロジェクトチームで検討を重ね、テント張替え・机椅子新調・エアコン入れ替えなどを行い店舗の一新をはかりました。お客様からもご好評を頂いており、今後の集客につながることを期待されます。

また、喫茶コーナー交流会と共催での当事者参加型の企画実施、外部企画への講師協力など、外向けへのイベントにも参加協力した一年でした。

#### (1) 事業活動

##### ①喫茶事業（喫茶店の営業）

売上は昨年度同様で、売上増には至りませんでした。集客増を目指してリニューアルを行いました。「カフェ大好きらしいおもてなし」をコンセプトに、B型事業所（奈良、徳島）の木工製品のカタリリー導入、「しごと場大好き国領」の紙すきコースターを導入しています。

地産地消メニューが定着してきた中、調布産ジェラートでお世話になっていた生乳卸元の小野牧場さんの閉鎖がありました。調布産の生乳は入手できなくなりましたが、引き続き調布産の果物を使うことで「調布産ジェラート」のブランドを維持しています。

##### ②福祉ショップ事業

引き続き、常設展示スペースを確保して市内福祉作業所の手作り品を展示販売しました。ギャラリー展示がきっかけで、新たに1事業所の常設展示販売が始まりました。

##### ③地域交流事業（展覧会/講演会等）

月ごとに展示が変わり、市民の方々の作品発表の場として有効活用していただきました。ワークショップが開催された月もあり、また、お客様も来店する度に展示がかわっていると楽しみにしてくださりいづれも好評でした。

#### 【開催実績】

4月アトリエMAKO(チョークアート)/5月「ありがとう小野牧場」展(写真等)/調布写真サークル展(写真)/7月ミックスリーブス「手しごと展」(手作り小物)/8月組ひも展(組紐)/9月雨倉充作品展(油彩・テンペラ等)/10月 Ichigo 作品展(アートフラワー他)/11月愛染てらにし作品展(ビーズアート)/12月ミックスリーブス「手しごと展」/1月「あおいろのせかい」展(写真)/2月ファーストステップ展(絵画)/3月 Ichigo 作品展(アートフラワー他)

#### (2) 利用者の処遇

①常時十分な処遇が受けられるスタッフの配置をこころがけました。

②個別の状況に応じた労働環境の提供をこころがけ、しごと場大好き・カフェ大好きの相互利用をすすめていきました。課題となっているメンバーの高齢化への配慮として、座ってできる作業の提供も実施しました。

③安定した工賃収入が得られるよう努力しました。

④家族と連絡を密にとり、メンバーの状況の変化を見逃さないようにしました。

#### (3) メンバー会議

しごと場大好きの月曜日の取り組みに、共に参加しました。

#### (4) 広報・情報提供活動

①ホームページを活用して、カフェ大好きの展覧会の情報等を発信しました。

②ブログを活用し、タイムリーな情報を随時掲載しました。



③ギャラリーの展示内容について、近隣にチラシ配りを行い、周知に努めました。

#### 4. 運営・管理

##### (1) 運営

出張所として、適正な運営を行いました。

##### (2) 資金計画

通常の運営資金は運営費でまかないました。

##### (3) 衛生管理

①掃除を徹底し、常に店内や器具類を清潔に保ちました。

②手洗や爪切りを徹底し、常に体を清潔にするよう努めました。

③食品の取り扱いに充分注意しました。粘着テープで制服のほこりをとり、異物混入を防ぐ対策を継続して行いました。

④定期的に衛生管理チェックを行い、衛生検査を年2回行いました。

##### (4) 保守管理

気持ちよくお客様を迎えられる環境を保つため毎日清掃を行い、建物を美しく維持管理することに努めました。長年の課題だった空調設備についてはリニューアルにともないエアコンの入れ替えを行いました。

##### (5) 防災計画

年2回の防災訓練を行いました。しごと場大好きと合同の防災訓練も実施しました。

##### (6) 施設間の連絡調整

①他の施設と積極的に連携し、職員の交流と施設運営の経験交流を図るよう心がけました。また調布市社会福祉協議会の講座に講師として協力、及び会場提供しました。

実施日：10月3日（水） ボランティアガイダンス特別編 美味しいコーヒーの淹れ方講座

②全国喫茶コーナー交流会に参加し、喫茶店事業を営む作業所と連携を深めるよう連絡を取り合いました。今年度は共催の形で「身だしなみ講座」として当所を会場として勉強会を開催しました。調布市外の事業所当事者の方も多数ご参加くださり、活発な意見交換もあり有意義な企画とすることができました。引き続き福祉喫茶間の関係性を大切にかかわっていきます。

実施日：11月11日（日） 参加事業所：西東京 喫茶ふれあい/府中市社会福祉協議会 ハーモニー/稲城 こらぼ稲城/調布 カフェ大好き 参加者：障害当事者15名、実行委員職員等16名 計31名 講師協力：訪問理容美容まる 高木のどか氏 山本悦子氏

##### (7) 研修

メンバー職員ともに、市内外の福祉喫茶を見学訪問する機会を作りました。継続し、新たな気づきが生まれるようにしていきます



## ◆資料 過去三年間の売り上げ

### カフェ大好き売り上げ推移



#### 【分析と検証】

・過去4年間微増していた売り上げだったが昨年度から減少している。特に4月の売り上げ減が特徴的だった。他はほぼ同年並の売り上げだった。

## Ⅲ 共同生活援助グループホームDAISUKI・ユニット「パンプキン」の運営

### 【グループホーム「DAISUKI」】

#### 1. 事業運営

事業開始8年目にあたる今年は、入居者4名、生活支援員2名世話人3名でスタートしました。指定共同生活援助の提供にあたっては、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、入浴・食事等の支援・相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行ってきました。また、利用者が住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆゆうと暮らし自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに人間性を尊重した事業運営に努めてきました。また、現在使用している物件についても、約束の期限があるため、移転に向けた準備を進めていくように、DAISUKI移転プロジェクトを立ち上げ、移転先の物件探しを始めています。年度当初に世話人1名と生活支援員1名が入職し、年度途中で世話人（男性）1名が入職し、女性用グループホーム「パンプキン」の開所と共に、世話人2名・生活支援員1名がパンプキンの夜勤に携わる等ありましたが、「DAISUKI」は、日勤・夜勤とも安定した運営を続けています。

#### 2. 利用者の処遇

利用者が、少しでも自立に向けた経験を積んでいければと、準備・片付け・掃除・洗濯・配膳・下膳等、日常生活に必要なスキルを自主的に取り組めるように働きかけてきました。食事・入浴の提供及び衛生管理・金銭管理も日常的に行いました。これにより、洗濯機の使い方や洗濯物の干し方、お米の研ぎ方、また、下膳・小遣い帳記載などが良い習慣として身につけてきている成果があり、継続して続けています。



### 3. 事業内容

- (1) 利用者に対する相談として、随時面談を行いました。
- (2) 食事、入浴の提供は、日々行ってきました。平日の夕食は、クッキングハウスさんに委託して提供して頂きました。年に数回程度、レストランでの外食・販売されている惣菜・お弁当等も取り入れました。また、入浴の介助を随時行いました。
- (3) 健康管理として、歯磨き・ブラッシング等の援助を随時行いました。
- (4) 金銭管理の援助として、小遣いを預かり出納を管理しました。
- (5) 職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助として、主に担当者が連絡調整を行いました。
- (6) 一人暮らしを望んでいる元利用者に、随時相談として面談を行いました。また、関係各機関との連絡調整を行いました。

### 4. 防災計画

DAISUKI 防災計画を作成しました。避難訓練は、年度内に一度開催し、第1次避難場所まで実際に避難してみる訓練を行いました。防災関連用品を購入し、水を備蓄しました。自動火災報知設備と受信盤を設置して、ちょうど一年が経過しました。

### 5. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当および苦情解決責任者を置き、周知をしましたが、実際の苦情はありませんでした。

### 6. 利用者から受領する費用

経費は次のように定めて、

食費 平日（朝食 300 円、昼食 300 円、夕食 600 円）休日（昼 300 円、夕食 600 円）

家賃月額 42,000 円 光熱水費、日用品費、雑費など月額 20,000 円

固定費は毎月、食費は利用に応じて請求（翌月 10 日まで）を行い、利用者保護者から振込をして頂きました。

### 7. 職員

安定した職員で運営ができました。年度当初に世話人 1 名と生活支援員 1 名が、年度途中で世話人（男性）1 名が入職しました。

### 8. 資金計画

今年度は、単年度で赤字となりました。職員給与の見直しと訓練等給付費の収入減が主な要因です。

## 【ユニット「パンプキン」】

東京都調布市染地 2-27-6

### 1. 事業運営

事業開始 1 年目にあたる今年は、7 月からの開所となり、入居者 5 名、生活支援員 5 名、世話人 5 名で、スタートしました。指定共同生活援助の提供にあたっては、利用者が地域において共同し



て自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、入浴・食事等の支援・相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行ってきました。また、利用者が住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆゆうと暮らし自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに人間性を尊重した事業運営に努めてきました。人員体制は時折、人手が足りない時もあり更なる改善が望まれます。

## 2. 利用者の処遇

利用者が、少しでも自立に向けた経験をできるようにと、食事の提供及び食事の介助、衣類の着脱の見守り及び介助、入浴の介助、トイレの介助等を行いました。

## 3. 事業内容

- (1) 利用者に対する相談として随時面談を行いました。
- (2) 食事、入浴の提供は日々行いました。平日の夕食は食事づくり担当職員が調理を行い、提供しました。また、入浴介助担当職員が入浴の介助を随時行いました。
- (3) 健康管理として、歯磨き・ブラッシング等の援助を随時行いました。
- (4) 職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助として、主に担当者が連絡調整を行いました。

## 4. 防災計画

パンプキン防災計画を作成しました。避難訓練は年度内に一度開催し、第1次避難場所まで実際に避難してみる訓練を行いました。防災関連用品を購入し、水を備蓄しました。

## 5. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当および苦情解決責任者を置き、周知をしましたが、実際の苦情はありませんでした。

## 6. 利用者から受領する費用

経費は次のように定めて、

食費 平日（朝食 300 円、昼食 300 円、夕食 600 円）休日（昼 300 円、夕食 600 円）

家賃月額 61,200 円 光熱水費、日用品費、雑費などは実費を受領。

食費は利用に応じて、請求（翌月 10 日まで）を行い、利用者保護者から振込をして頂きました。

## 7. 職員

事業開始が、7 月で年度途中だったこともあり、職員募集は難航し、作業所の職員が、見つかるまでつないで急場をしのいだことがありました。その後も、職員が退職したり、新たな人が入職したり、体制が整うまでに長い時間を必要としました。

## 8. 資金計画

今年度の運営資金は運営費でまかないました。

## 9. 短期入所「パンプキン」

今年度は、試験的運用となりました。



#### IV その他の事業・活動

##### 1. 障害者の社会参加を支援する活動

###### (1) 交流活動（年間を通して随時）

###### ① 餅つき会

170名以上の方々にお越し頂き大変賑やかな会になりました。新作の創作もちを職員が発表するなど、愉快的な企画も催されました。地域の方々にも多数お越しいただき、餅のつき手にも恵まれ、温かな雰囲気の中で交流を深めることができました。

実施日：2019年2月2日（土） 場所：「しごと場大好き」 参加者：172名

##### 2. 広報・情報提供活動

###### (1) 会報の発行等

法人の事業・活動を広く知らせるとともに関連情報を提供する為、調布市内外の関係機関・団体、協力者、助成団体、マスコミ、特別支援学校 PTA などに配布しました。

偶数月年6回、毎号650部発行

発行月	発行No.	主な内容
4月	157	理事会報告／ヘルシーコラム／TAGAYASIBITO／こぶしの会だより、活動報告／通信衛星
6月	158	理事会報告／TAGAYASIBITO／こぶしの会だより、活動報告／通信衛星／サマー募金
8月	159	グループホーム「パンプキン」開所／展示会案内／TAGAYASIBITO／こぶしの会だより、活動報告／花火鑑賞会告知／通信衛星／年次レポート発刊
10月	160	コンサート告知／TAGAYASIBITO／こぶしの会だより、活動報告／ジャングルバザー告知／通信衛星
12月	161	ジャングルバザー報告／TAGAYASIBITO／こぶしの会だより、活動報告／グループホーム1年を振り返って／花火鑑賞会報告／通信衛星
2月	162	それはおしゃれなコンサート2019報告／TAGAYASIBITO／こぶしの会だより、活動報告／グループホーム／成人を祝う会／通信衛星

###### (2) 情報提供活動

年次レポートを予定通り発行することができました。長年の課題である法人のパンフレットはいまだ未作成のため、早い時期の取り組みが必要です。

##### 3. 市民参加型事業・活動の開発と企画・実施

###### (1) 「それはおしゃれなコンサート（第26回）」の実施

26回目のチャリティーコンサートを企画・実施しました。開催にあたりコンサートプロジェクトが中心となり企画の検討、調整を行いました。

今回は、調布市文化会館たづくり くすのきホールにて開催することとなり、出演者は、カルロス菅野～熱帯 Super jam～さんというラテン・ジャズ・セッション・ユニットを招いてのコンサートとなりました。メンバーさんたちも、最後はノリノリで、立って踊り出すという素晴らしいコンサートとなりました。

- ・ 開催日 2019年2月 9日(土)
- ・ 会場 調布市文化会館たづくり くすのきホール
- ・ 出演 カルロス菅野～熱帯 Super jam～
- ・ 入場者数 500名
- ・ 後援 調布市、調布市教育委員会、(福)調布市社会福祉協議会、(財)調布市文化・コミュニティー振興財団



- ・ 協 力 協力券頒布：市内各福祉作業所等 広告掲載：6社
- ・ チャリティー事業収入 約60万円

#### 4. 協力・連携事業

##### (1) 文化的活動の実施

実施できませんでした。

##### (2) 他団体等への支援・協力活動の実施

企業の新人研修や大学の福祉体験実習を受け入れました。

- ・ 三菱東京 UFJ 銀行 新人研修受け入れ 4名

### V 組織運営

#### 1. 組織運営

##### (1) 理事会、評議員会の開催

「しごと場大好き」「カフェ大好き」を運営する体制を整えるとともに、各種事業、活動を円滑に進めるため、組織運営の確立を図るよう努めました。

理事会の開催 5回 評議員会の開催 2回

##### (2) 事務局の確立による事務処理の円滑化

事務局会議を 定例で月1回開催し、運営上の課題について検討を重ねました。年間を通して税理士さんに会計を見てもらい、各事業、月々の締めには決算もあわせて、確認していただいています。月次報告は理事長が、事務局会議で確認しています。

##### (3) 市民の参画を得るための委員会の確立

幅広い市民の参加によるプロジェクト（委員会）を設置し、法人の事業、活動を市民の参画・協働によって実施していくことを目指して活動しました。

「コンサートプロジェクト」では『それはおしゃれなコンサート』の企画運営、「バザープロジェクト」では『ジャングルバザー』の企画運営を行ないました。

##### 【コンサートプロジェクト】

朝日敏幸 大菊健太 安藤光子 川崎春枝 原郁子 舟山佐智 後藤朋子

##### 【バザープロジェクト】

天田進二 野口千鶴子 清野敦美 竹原康 竹原郁子 原峰子 三笥るみ子 近田真之 森田和広

##### (4) 理事・監事、評議員の研修実施

引き続き、研修の機会を設けることに積極的に取り組みました。

#### 2. 財源の開拓・確保

長期的な展望をもった事業・活動を運営していくために、自主財源の充実に努めました。

##### (1) バザー等の計画的実施

バザープロジェクトメンバーに新たなメンバーが加わり、主催バザーの企画・運営をしました。

- ・ 開催日 ジャングルバザー2018 2018年11月17日（土）
- ・ 会 場 調布駅前広場（ビックカメラ前）
- ・ 参加団体 アトリエgen・訪問理容美容まる
- ・ 事業収入 約66万円



VI その他プロジェクト

1. 将来構想プロジェクト(第3期将来構想プロジェクト)

長期計画の進捗状況を進行管理するという事で、プロジェクトを進めてきました。次の中期計画を策定し、2019年3月に第3期は役目を終えました。

※将来構想プロジェクト【原良男 大村洋 川崎春枝 山本顛子 亀田良一郎 内田喜則 後藤朋子 矢内真澄 近田真之 山口寛孝 以上10名】

2. グループホームプロジェクト

ショートステイ併設の女性用グループホーム実現のためのグループホームプロジェクトを開催しました。オーナー建て貸しの物件という事で、染地2丁目に建設地もきまり、建設の段階から色々協議を重ねてきて、2018年7月開所まで会議を進めてきました。

※グループホームプロジェクト【小山嘉子 清野敦美 高橋満子 普後むつ子 小柳愛子 松井久美子 荘司和代 亀田良一郎 田村冴未 山口寛孝 以上10名】

3. DAISUKI移転プロジェクト

グループホームDAISUKIの移転の期限が、近づいていることから、2018年11月29日に移転のためのプロジェクトを利用の家族・職員で立上げこれまでに4回の会議を開催してきました。候補地の選定を主な議題として、会議を進めています。

※DAISUKI移転プロジェクト【原良男 安藤光子 石坂泰子 舟山佐智 長谷川美枝子 亀田良一郎 内田喜則 山口寛孝 以上8名】



# 資金収支決算書

(自)2018年 4月 1日 (至)平成2019年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム	
収 入	就労支援事業収入	18,353,876		6,456,307	12,018,169		*
	受託事業収入	6,541,343		3,756,965	2,784,378		
	喫茶事業収入	4,894,965			4,894,965		
	自主製品事業収入	576,177		238,630	340,747		*
	菓子、調理製造事業収入	2,944,251		1,264,393	1,685,858		*
	アイスクリーム製造事業収入	2,130,290		737,974	1,392,316		
	簡易受託受注事業収入	982,115		446,259	535,856		
	仕入れ商品売り上げ収入	284,735		12,086	384,049		*
	障害福祉サービス等事業収入	146,341,971		63,183,028	50,851,808	32,307,135	
	自立支援給付費収入	119,870,665		56,816,091	40,355,722	22,698,852	
	介護給付費収入	56,816,091		56,816,091			
	訓練等給付費収入	63,054,574			40,355,722	22,698,852	
	利用者負担金収入	360,123		360,123			
	特定費用収入	7,320,465				7,320,465	
	その他の事業収入	18,790,718			6,006,814	10,496,086	2,287,818
	補助金事業収入	17,834,818			5,597,143	9,949,857	2,287,818
	その他の事業収入	955,900			409,671	546,229	
	借入金利息補助金収入	130,900			56,100	74,800	
	経常経費寄附金収入	4,216,447	3,014,818		549,198	652,431	
	受取利息配当金収入	176,155	175,065		305	749	36
	その他の収入	3,427,978	2,496,101		377,427	498,910	55,540
	受入研修費収入	46,000			25,429	20,571	
	利用者等外給食費収入	55,500					55,500
	雑収入	3,326,478	2,496,101		351,998	478,339	40
	雑収入	3,326,478	2,496,101		351,998	478,339	40
事業活動収入計(1)	172,647,327	5,685,984		70,622,365	64,096,867	32,362,711	*
事業活動による収支 支 出	人件費支出	103,272,316		52,147,846	33,014,329	18,110,141	
	職員給料支出	46,498,503		22,403,934	19,969,978	4,124,591	
	職員賞与支出	12,197,398		6,043,821	5,151,195	1,002,382	
	非常勤職員給与支出	33,880,970		17,908,547	3,497,924	12,474,499	
	退職給付支出	1,201,500		979,000	178,000	44,500	
	法定福利費支出	9,493,945		4,812,544	4,217,232	464,169	
	事業費支出	15,315,593	3,000	4,479,367	7,517,391	3,319,035	*
	給食費支出	1,630,740				1,630,740	
	保健衛生費支出	217,461		72,951	142,686	1,824	
	教養娯楽費支出	2,648,397		1,138,783	1,509,614		
	水道光熱費支出	3,300,405		883,262	1,848,247	568,896	
	消耗器具備品費支出	3,249,303		700,850	1,568,404	983,249	*
	保険料支出	1,331,926	3,000	511,971	682,629	134,326	
	賃借料支出	334,108		39,111	294,997		
	教育指導費支出	463,469		217,144	246,325		
	車輛費支出	1,954,264		835,786	1,118,478		
	雑支出	54,036		23,159	30,877		
	地域交流費支出	131,484		56,350	75,134		
	事務費支出	19,950,060	2,300,173	3,659,002	6,356,265	7,723,820	*
	福利厚生費支出	221,422		140,319	74,065	7,038	
	職員被服費支出	48,566			48,566		
	旅費交通費支出	395,070	343,750	25,669	25,651		
	研修研究費支出	93,788		73,479	19,109	1,200	
	事務消耗品費支出	1,143,529	246,918	325,201	251,786	402,824	*
	印刷製本費支出	238,449	220,189	5,389	12,871		
	修繕費支出	821,897	79,488	320,426	377,983	44,000	
	通信運搬費支出	808,651	27,989	181,598	289,507	309,557	
	広報費支出	189,684	5,004	79,149	105,531		
	業務委託費支出	3,520,338		1,366,750	1,513,886	639,702	
	その他の委託費支出	3,520,338		1,366,750	1,513,886	639,702	
	手数料支出	102,370	3,010	35,534	53,188	10,638	
	土地・建物賃借料支出	9,722,586		648,000	2,851,920	6,222,666	
	租税公課支出	729,400	38,497	218,581	386,227	86,095	
	保守料支出	323,284		138,550	184,734		
	渉外費支出	15,000		4,286	10,714		
	諸会費支出	39,864	4,664	9,000	26,200		
	雑支出	1,536,162	1,330,664	87,071	124,327		100
	雑支出(事務)	1,536,162	1,330,664	87,071	124,327		100
	就労支援事業支出	18,163,083		6,403,104	11,788,179		*
	就労支援事業販売原価支出	18,163,083		6,403,104	11,788,179		*
就労支援事業支出	18,163,083		6,403,104	11,788,179		*	
支払利息支出	130,900		56,100	74,800			
その他の支出	62,740		3,103	4,137	55,500		
利用者等外給食費支出	62,740		3,103	4,137	55,500		
事業活動支出計(2)	156,894,692	2,303,173	66,748,522	58,755,101	29,208,496	*	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	15,752,635	3,382,811	3,873,843	5,341,766	3,154,215		







# 事業活動収支決算書

(自)2018年 4月 1日(至)2019年 3月31日

(単位:円)

	勘定科目	法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム	
収 益	就労支援事業収益	18,353,876		6,456,307	12,018,169		*
	受託事業収益	6,541,343		3,756,965	2,784,378		
	喫茶事業収益	4,894,965			4,894,965		
	自主製品事業収益	576,177		238,630	340,747		*
	菓子、調理製造事業収益	2,944,251		1,264,393	1,685,858		*
	アイスクリーム製造事業収益	2,130,290		737,974	1,392,316		
	簡易受託受注事業収益	982,115		446,259	535,856		
	仕入れ商品売り上収益	284,735		12,086	384,049		*
	障害福祉サービス等事業収益	146,341,971		63,183,028	50,851,808	32,307,135	
	自立支援給付費収益	119,870,665		56,816,091	40,355,722	22,698,852	
	介護給付費収益	56,816,091		56,816,091			
	訓練等給付費収益	63,054,574			40,355,722	22,698,852	
	利用者負担金収益	360,123		360,123			
	特定費用収益	7,320,465				7,320,465	
	その他の事業収益	18,790,718		6,006,814	10,496,086	2,287,818	
	補助金事業収益	17,834,818		5,597,143	9,949,857	2,287,818	
その他の事業収益	955,900		409,671	546,229			
経常経費寄附金収益	4,216,447	3,014,818	3,014,818	549,198	652,431		
サービス活動収益計(1)	168,912,294	3,014,818	3,014,818	70,188,533	63,522,408	32,307,135	*
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部  費 用	人件費	107,187,782		54,070,979	34,714,262	18,402,541	
	職員給料	46,498,503		22,403,934	19,969,978	4,124,591	
	職員賞与	12,197,398		6,043,821	5,151,195	1,002,382	
	賞与引当金繰入	3,915,466		1,923,133	1,699,933	292,400	
	非常勤職員給与	33,880,970		17,908,547	3,497,924	12,474,499	
	退職給付費用	1,201,500		979,000	178,000	44,500	
	法定福利費	9,493,945		4,812,544	4,217,232	464,169	
	事業費	15,315,593	3,000	4,479,367	7,517,391	3,319,035	*
	給食費	1,630,740				1,630,740	
	保健衛生費	217,461		72,951	142,686	1,824	
	教養娯楽費	2,648,397		1,138,783	1,509,614		
	水道光熱費	3,300,405		883,262	1,848,247	568,896	
	消耗器具備品費	3,249,303		700,850	1,568,404	983,249	*
	保険料	1,331,926	3,000	511,971	682,629	134,326	
	賃借料	334,108		39,111	294,997		
	教育指導費	463,469		217,144	246,325		
	車輛費	1,954,264		835,786	1,118,478		
	雑費	54,036		23,159	30,877		
	地域交流費	131,484		56,350	75,134		
	事務費	19,950,060	2,300,173	3,659,002	6,356,265	7,723,820	*
	福利厚生費	221,422		140,319	74,065	7,038	
	職員被服費	48,566			48,566		
	旅費交通費	395,070	343,750	25,669	25,651		
	研修研究費	93,788		73,479	19,109	1,200	
	事務消耗品費	1,143,529	246,918	325,201	251,786	402,824	*
	印刷製本費	238,449	220,189	5,389	12,871		
	修繕費	821,897	79,488	320,426	377,983	44,000	
	通信運搬費	808,651	27,989	181,598	289,507	309,557	
	広報費	189,684	5,004	79,149	105,531		
	業務委託費	3,520,338		1,366,750	1,513,886	639,702	
	その他の委託費	3,520,338		1,366,750	1,513,886	639,702	
	手数料	102,370	3,010	35,534	53,188	10,638	
	土地・建物賃借料	9,722,586		648,000	2,851,920	6,222,666	
	租税公課	729,400	38,497	218,581	386,227	86,095	
	保守料	323,284		138,550	184,734		
	渉外費	15,000		4,286	10,714		
	諸会費	39,864	4,664	9,000	26,200		
	雑費	1,536,162	1,330,664	87,071	124,327	100	*
	雑費(事務)	1,536,162	1,330,664	87,071	124,327	100	*
	就労支援事業費用	18,373,260		6,383,993	12,017,467		*
	就労支援事業販売原価	18,373,260		6,383,993	12,017,467		*
	期首製品(商品)棚卸高	425,415		87,372	338,043		
	就労支援事業費	18,436,856		6,446,930	12,018,126		*
	期末製品(商品)棚卸高	△ 489,011		△ 150,309	△ 338,702		
	減価償却費	6,410,961		1,924,234	2,866,407	1,620,320	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 5,764,904		△ 1,719,416	△ 2,549,780	△ 1,495,708	
	サービス活動費用計(2)	161,472,752	2,303,173	2,303,173	68,798,159	60,922,012	29,570,008
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	7,439,542		711,645	1,390,374	2,600,396	2,737,127	



**事業活動収支決算書**  
(自)2018年 4月 1日(至)2019年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
サービス活動外増減の部	収益					
	借入金利息補助金収益	130,900		56,100	74,800	
	受取利息配当金収益	176,155	175,065	305	749	36
	その他のサービス活動外収益	3,427,978	2,496,101	377,427	498,910	55,540
	受入研修費収益	46,000		25,429	20,571	
	利用者等外給食収益	55,500				55,500
	雑収益	3,326,478	2,496,101	351,998	478,339	40
	雑収益	3,326,478	2,496,101	351,998	478,339	40
	サービス活動外収益計(4)	3,735,033	2,671,166	433,832	574,459	55,576
	費用					
支払利息	130,900		56,100	74,800		
その他のサービス活動外費用	62,740		3,103	4,137	55,500	
利用者等外給食費	62,740		3,103	4,137	55,500	
サービス活動外費用計(5)	193,640		59,203	78,937	55,500	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,541,393	2,671,166	374,629	495,522	76	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	10,980,935	3,382,811	1,765,003	3,095,918	2,737,203	
特別増減の部	収益					
	施設整備等補助金収益	1,496,000				1,496,000
	施設整備等補助金収益	1,496,000				1,496,000
	設備資金借入金元金償還補助金収益					
	特別収益計(8)	1,496,000				1,496,000
費用						
固定資産売却損・処分損	2			2		
器具及び備品売却損・処分損	2			2		
国庫補助金等特別積立金積立額	1,496,000				1,496,000	
特別費用計(9)	1,496,002			2	1,496,000	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 2			△ 2		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	10,980,933	3,382,811	1,765,003	3,095,916	2,737,203	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	161,520,320	51,888,756	27,847,478	82,533,220	△ 749,134
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	172,501,253	55,271,567	29,612,481	85,629,136	1,988,069
	基本金取崩額(14)					
	その他の積立金取崩額(15)					
	その他の積立金積立額(16)	9,697	22	9,377	298	
	工賃変動積立金積立額	9,420		9,377	43	
	設備等整備積立金積立額	277	22		255	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	172,491,556	55,271,545	29,603,104	85,628,838	1,988,069	

\*内部取引あり



# 貸借対照表

2019年 3月31日現在

(単位:円)

	資産の部			負債の部		
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減
<b>流動資産</b>	144,637,501	138,912,875	5,724,626			
現金預金	120,685,913	121,499,882	△ 813,969	流動負債	23,118,030	△ 1,160,656
事業未収金	22,681,649	16,017,096	6,664,553	事業未払金	15,401,611	△ 5,050,405
商品・製品	489,011	425,415	63,596	1年以内返済予定設備資金借入金	1,540,000	0
仕掛品	20,444	30,588	△ 10,144	預り金	8,114	0
原材料	198,638	223,315	△ 24,677	職員預り金	1,035,183	△ 46,517
立替金	0	72,228	△ 72,228	賞与引当金	3,915,466	3,915,466
前払費用	492,596		492,596	仮受金	57,000	20,800
仮払金	69,250	644,351	△ 575,101			
<b>固定資産</b>	309,254,512	311,326,149	△ 2,071,637	固定負債	12,320,000	△ 1,540,000
基本財産	272,083,441	275,949,121	△ 3,865,680	設備資金借入金	12,320,000	△ 1,540,000
土地	160,000,000	160,000,000	0	負債の部合計	34,277,374	△ 2,700,656
建物	102,083,441	105,949,121	△ 3,865,680			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	純資産の部		
その他の固定資産	37,171,071	35,377,028	1,794,043	基本金	10,000,000	0
建物	3,292,438	2,137,600	1,154,838	第1号基本金	10,000,000	0
建物附属設備	0	2,300,000	△ 2,300,000	国庫補助金等特別積立金	224,202,127	△ 4,627,288
機械及び装置	1	1	0	その他の積立金	12,920,956	9,697
車輦運搬具	4,793,649	4,454,092	339,557	工賃変動積立金	5,515,589	9,420
器具及び備品	2,430,154	710,811	1,719,343	設備等整備積立金	7,405,367	277
権利	216,000	216,000	0	次期繰越活動増減差額	172,491,556	10,971,236
投資有価証券	9,695,551	9,601,875	93,676	(うち当期活動増減差額)	10,980,933	△ 646,386
工賃変動積立資産	5,515,589	5,506,169	9,420			
設備等整備積立資産	7,405,367	7,405,090	277			
差入保証金	3,000,000	3,000,000	0			
長期前払費用	766,572		766,572			
その他の固定資産	55,750	45,390	10,360	純資産の部合計	419,614,639	6,353,645
資産の部合計	453,892,013	450,239,024	3,652,989	負債及び純資産の部合計	450,239,024	3,652,989



# 社会福祉法人調布を耕す会 2019年度事業計画

## I 重点目標

1. 社会福祉事業 「しごと場 大好き」分場「しごと場大好き 国領」「カフェ 大好き」の運営の充実に努める。
2. 社会福祉法人として、地域福祉の担い手となるべく、多くの市民とともに事業・活動の一層の充実、展開を目指す。
3. グループホーム「DAISUKI」ユニット「パンプキン」の運営の充実に努める。

## II 生活介護「しごと場 大好き」・分場「しごと場 大好き 国領」の運営

所在地 東京都調布市布田3-20-1

利用定員 10名 現員13名《区分6(4)区分5(7)区分4(2)》

職員定数

所 長(管理者)	1名(常勤)
サービス管理責任者	1名(常勤)(所長兼務)
医 師	1名(嘱託)
看護職員	1名(非常勤)
機能訓練指導員	1名(常勤)
生活支援員	8名(常勤5名、非常勤4名)
事務職員	1名(非常勤・兼務)

分場「しごと場大好き 国領」

所在地 東京都調布市国領7-17-26

利用定員 7名 現員5名《区分5(2)区分4(3名)》

職員定数

所 長(管理者)	1名(常勤・兼務)
サービス管理責任者	1名(常勤・兼務)
医 師	1名(嘱託・兼務)
看護職員	1名(非常勤・兼務)
機能訓練指導員	1名(常勤・兼務)
生活支援員	3名(常勤)

### 1. 事業運営基本計画

指定生活介護の事業は、通所メンバー（以下メンバーとする）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第二条の四に規定するものに対して、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。



## 2. 今年度方針

「しごと場大好き」と「しごと場大好き 国領」（以下分場とする）は、双方の機能を活かしながら一層の相互交流を図り、個別支援のプログラムの充実を目指し一体的運営を行っていきます。

## 3. メンバーの処遇

### (1) 生活支援

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めます。

### (2) 創作活動援助

メンバーの意思や個性・特性を尊重し、社会との結びつきを大切に生産活動を行います。

### (3) ケース会議 \* 就労継続B型と合同開催

これまでは具体策を実施した結果の「検証」が不定期でした。その結果、「検証」を経て行う「改善」へうまく繋がられないまま積み残してしまった課題がありました。

今後は、毎週のケース会議において課題検討 30 分、過去の課題検証 30 分の形式で行います。

## 4. 活動内容

### (1) 日常生活上の支援を提供

ADLが未自立なメンバーに対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上に努めます。

### (2) 創作活動の機会の提供

創作活動を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上を図ります。

### (3) 簡易受託受注事業

野菜の仕入れ販売、下請け軽作業などを通して地域への障害者理解を促進し、働く事への意欲を喚起します。

### (4) その他の事業

①社会体験活動（公共交通機関利用の実践／買い物実践／コミュニケーションマナーなどのグループ活動）

②地域に根ざした活動（地域向け施設開放行事各種／公園清掃／道路清掃／駐輪場清掃）

③受託事業、食品加工事業などB型事業所との共同事業

④自立訓練（調理実習、個別支援等を通じて社会生活に生きるプログラムを分場にて行う）

## 5. 防災計画

しごと場大好き防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施します。

所長 総指揮（防火管理責任者）

生活支援員 救助担当・消火担当・連絡・報告担当

機能訓練指導員 避難訓練担当者

分場では独自の防災計画を作成し避難訓練等を年2回実施します。

主任 総指揮（防火管理責任者）

生活支援員 救助担当・消火担当・連絡・報告担当

機能訓練指導員 避難訓練担当者



## 6. 日 課

職員出勤 打合せ・送迎	8 : 3 0
通所	9 : 0 0
打合せ・準備	9 : 1 5
作業開始	9 : 1 5～1 2 : 0 0
昼食・休憩	1 2 : 0 0～1 3 : 0 0
作業開始	1 3 : 0 0～1 5 : 0 0
作業終了・片付け・掃除	1 5 : 0 0～1 5 : 4 5
打合せ・帰宅準備・帰宅	1 5 : 4 5～1 6 : 0 0
送迎	1 6 : 0 0～1 6 : 4 5
職員打合せ	1 7 : 1 5～1 7 : 3 0
閉所	1 7 : 3 0

## 7. 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 援助主任：矢内 真澄 042-486-1022

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

### 分場

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 分場主任：近田 真之 042-444-3733

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

## 8. 第三者委員

三田 恵美（特別支援学校教員） 伊藤 正子（元特別支援学校教員）の2名を置く。

4月29日（祝）大好き市の他、年に数回の相談日を設け、メンバー、家族の希望者から相談を受ける。分場においても同じ機会を利用し相談を受ける。

## 9. リスクマネジメント委員会 \*就労継続B型と合同開催

2019年度も現体制を維持し、第8期リスクマネジメント委員会として活動します。

継続して、委員会運営の指針である6本の柱（①報告制度②委員会の運営③業務手順書の整備④研修⑤家族とのパートナーシップ⑥ケース記録の作成と活用）のレベル向上を目指します。

## 10. みんなを守ろう委員会 \*就労継続B型と合同開催

引き続き年2回のアンケートを実施し、虐待防止の認識・意識向上に努めます。今年度から委員会の職員が1名入れ替わりました。今年度は自己分析や、集団分析など行いたいと考えています。法人理念の周知徹底も継続します。

## 11. 職員名簿

職 名	氏 名	資 格
所 長 (管理者・サービス管理責任者)	亀田 良一郎	社会福祉士
生活支援員・援助主任	矢内 真澄	介護福祉士



生活支援員・調理主任	亀田 弘美	
機能訓練指導員	森田 和広	
生活支援員	阿部 ちひろ	
生活支援員	日下石 誠	
生活支援員	近藤 鶴代	
生活支援員	石川 真紀	
生活支援員	澤上 美穂子	
生活支援員	有海 直美	
事務職員・支援員兼務	松原 中代	
看護職員 (非常勤)	上田 砂恵子	看護師

#### 分場

職 名	氏 名	資 格
所 長 (兼務) (管理者・サービス管理責任者)	亀田 良一郎	社会福祉士
機能訓練指導員・援助主任	近田 真之	保育士 介護福祉士
生活支援員	渡辺 稚月	
生活支援員	松尾 安由美	

#### 12. 職員研修計画

今年度は、新たな研修体系に沿って、職員個々がキャリアアップを実感できる研修を実践していきます。

#### 13. 資金計画

通常の運営経費は運営費でまかないます。

### Ⅲ 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営 【就労継続支援B型「しごと場大好き」】

所在地 東京都調布市布田3-20-1

利用定員 20名 現員25名



## 職員定数

所長（管理者）	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤・所長兼務）
職業指導員	3名（常勤 1名、非常勤 2名）
生活支援員	3名（常勤 2名、非常勤 1名）
目標工賃達成指導員	1名（常勤）

### 1. 事業運営基本計画

指定就労継続支援（B型）の事業は、通所メンバー（以下メンバーとする）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第六条の十第二号に規定する者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

### 2. 今年度方針

メンバーの安心、安全、を第一義に守りながら、地元でのラグビーワールドカップ開催の年にあたり、関連した作業、商品の開発を視野に入れて工賃の向上を目指します。同時に、社会福祉充実計画に基づいた事務部門のクラウド化、必要箇所の建物修繕、消費税の増税に対応しながら継続的に安定した運営体制を目指します。

### 3. メンバーの処遇

#### (1) 生産活動援助

メンバーの意思や個性・特性を尊重し、社会との結びつきを大切に生産活動を行います。

#### (2) 生活指導

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めます。

#### (3) 職業訓練指導

就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の提供を行います。

#### (4) ケース会議 \*生活介護と合同開催

### 4. 生産活動内容

#### (1) 受託事業

地域貢献に繋がる行政からの委託事業を通して、仕事に対する誇りと責任を培います。施設外就労にも積極的に取り組んでいきます。（牛乳パック回収、公園清掃、メール交換、ポストティング、水道メーター分解、駐輪場散水、クリンセンター清掃）

#### (2) 自主製品事業

創作活動（芸術活動）とその販売を通して、地域への障害者理解の促進と働くことへの意欲を喚起します。都運営の福祉ショップ「KURUMIRU」での販売や障害者アート展にも積極的に取り組みます。（陶芸、組みひも、ポストカード他）



### (3) 喫茶事業

駅前商店街での喫茶店、福祉ショップ営業(カフェ大好き)での仕事を通して一般就労に必要な知識、能力を養い、適性にあった職場への就労を促進します。

### (4) 食品加工事業

食品製造、加工、販売を通しての一般就労に必要な知識、能力を養い、適性にあった職場への就労を促進します。また食品表示の改定、消費税の増税が予定される中、適正に対処できるよう、準備に取り組めます。(カフェ大好きでの販売食品、菓子の製造、加工)(ジェラートの製造、加工、販売)

## 5. 防災計画

しごと場大好き防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施します。

所長	総指揮
生活支援員	救助担当・連絡・報告担当
目標工賃達成指導員	救助担当・連絡・報告担当
職業指導員	消火・救助担当

## 6. 日課

職員出勤	8:30
通所	9:00
打合せ・準備	9:15
作業開始	9:15~12:00
昼食・休憩	12:00~13:00
作業開始	13:00~15:00
作業終了・片付け・掃除	15:00~15:45
打合せ・帰宅準備・帰宅	15:45~16:00
送迎	16:00~16:45
職員打合せ	17:15~17:30
閉所	17:30

## 7. 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 生活支援員：後藤 朋子 042-481-3933  
苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

## 8. 第三者委員 \*生活介護と共同

三田 恵美(特別支援学校教員) 伊藤 正子(元特別支援学校教員)の2名を置く。

4月29日(祝)大好き市の他、年に数回の相談日を設け、メンバー、家族の希望者から相談を受ける。分場においても同じ機会を利用し相談を受ける。

## 9. リスクマネジメント委員会 \*生活介護と合同開催

## 10. みんなを守ろう委員会 \*生活介護と合同開催



## 11. 職員名簿

職 名	氏 名	資 格
所 長 *生活介護と兼務 (管理者・サービス管理責任者)	亀田 良一郎	社会福祉士
職業指導員 *グループホーム管 理者と兼務	内田 喜則	
生活支援員 *カフェ大好き店長	後藤 朋子	
生活支援員	小星 牧古	社会福祉士
生活支援員	廣末 可奈子	
目標工賃達成指導員	守屋 茉耶	
職業指導員	高木 里美	
職業指導員	川田 幸生	

## 12. 職員研修計画

キャリアアップが実感できる研修体制の実施に取り組みます。

## 13. 資金計画

通常の運営経費は運営費でまかないます。また、財政状況を見極めながら修繕、工賃等の積立金を継続して行きます。

### 【出張所「カフェ大好き」】

所在地 東京都調布市多摩川5-7-4京王多摩川88ビル1F

#### 1. 基本方針

- (1) 市民と直に接する機会を積極的に持ち、市民に理解を求めるとともに多くの社会的体験を得る場とする。
- (2) 地域の作業所の自主製品を広く市民に紹介し、積極的に販売する場とする。
- (3) 就労をした障害のある仲間が、帰宅途中気がねなく立ち寄り、英気を養える場となるよう努める。
- (4) 週末に営業することで、障害のある仲間の余暇活動をサポートする場となるよう努める。
- (5) 地域に根ざした活動をする。
- (6) 就労継続支援施設B型「しごと場大好き」の出張所として、就労を目指す仲間が、ここを足がかりに就労に結びつくような支援を行う。

#### 2. 今年度方針

法人の中長期計画に沿って、昨年度末に開店当初より20年以上使い続けてきた机椅子の買い替え、店頭テント張り替え、エアコン入れ替えについて社会福祉充実残額を利用してのり



リニューアルを行ないました。リニューアルした店舗で、より多くのお客様にご利用いただける店づくりにつとめます。

また、10月の消費税増税に向け原価計算の見直しを早急に行い、適正な価格への変更や、キャッシュレス化による軽減税率への対応も検討します。

### 3. 事業

#### (1) 事業活動

##### ①喫茶事業（喫茶店の営業）

机椅子を一新することで、お客様にくつろぎの空間を提供できるような店舗にしていきます。また、開店当初から据え置きだったメニュー価格も、10月の消費税増税にともない早急に原価計算をし直し、適正価格への移行を検討します。

##### ②福祉ショップ事業

地域の作業所の自主製品を広く市民に紹介し、積極的に販売します。引き続き常設スペースを設置し、定期的な納品がされるよう働きかけていきます。

##### ③地域交流事業（展覧会/講演会等）

C a f eの無料ギャラリーを地域住民に一般開放し、展示会等の文化的活動の発信の場として取り組んでいきます。また、「ひだまりサロン」事業に会場提供することで一般市民の社会交流の場作りに引き続き協力します。

#### (2) 利用者の処遇

①常時十分な処遇が受けられるスタッフの配置をこころがけます。

②個別の状況に応じた労働環境の提供をこころがけます。（加齢への対応、積極的な調理への参加等）

③安定した工賃収入が得られるよう努力します。

④家族と連絡を密にとり、メンバーの状況の変化を見逃さないようにします。

#### (3) メンバー会議

しごと場大好きの日曜日の取り組みに合同で参加します。

#### (4) 広報・情報提供活動

①ホームページを活用して、カフェ大好きの展覧会の情報等を発信します。

②ブログを日常的に更新します。また、フェイスブックの利用も検討します。

### 4. 運営・管理

#### (1) 運 営

出張所として、適正な運営を行います。

#### (2) 資金計画

通常の運営資金は運営費でまかないます。また、開店からの経年により修繕の必要もあり、修繕費の積み立て等も検討していきます。

#### (3) 衛生管理

①掃除を徹底し、常に店内や器具類を清潔に保ちます。

②手洗いや爪切りを徹底し、常に体を清潔にするよう努めます。

③食品の取り扱いには充分注意します。

④定期的に衛生管理チェックを行います。検便を年2回実施します。（4月・10月）



(4) 保守管理

気持ちよくお客様を迎えられる環境を保つため毎日清掃を行い、建物を美しく維持管理することに努めます。

(5) 防災計画

防災計画を作成するとともに、避難訓練を実施します。

(6) 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 生活支援員：後藤 朋子 042-481-3933

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置きます。

苦情対応マニュアルに基づき、迅速な対応を心がけます。

(7) 第三者委員

三田 恵美（特別支援学校教員） 伊藤 正子（元特別支援学校教員）の2名を置きます。

しごと場大好きでの「お話きますよ」の機会を利用して相談を受けます。

(8) 施設間の連絡調整

①他の施設と積極的に連携し、職員の交流と施設運営の経験交流を図ります。

②全国喫茶コーナー交流会の活動に積極的に参加し、喫茶店事業を営む作業所と連携を深めるよう努力します。

(9) 研 修

喫茶店業務に従事する上で必要な知識、技術を学ぶための研修実施を企画検討します。また、しごと場大好きの社会体験活動の時間を利用してメンバーとともに市内の他の福祉喫茶見学を行い、新たな気付きを得るようにします。

## IV 共同生活援助グループホームDAISUKIの運営

所在地 東京都調布市布田1-14-2

利用定員 4名 区分4：1名、区分3：3名

職員数

一 所長（管理者） 1名（常勤）

二 サービス管理責任者 1名（兼務：常勤の生活支援員と兼務）

三 生活支援員 2名（常勤1名・非常勤1名）

四 世話人 4名（非常勤）

### 1. 事業運営基本計画

指定共同生活援助の提供に当たっては、メンバーが地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、メンバーの身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の援助、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。



## 2. メンバーの処遇

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と社会生活力の向上に努める。

## 3. 事業内容

- (1) メンバーに対する相談
- (2) 食事、入浴の提供
- (3) 健康管理
- (4) 金銭管理の援助
- (5) 余暇活動の支援
- (6) 職場、家庭等関係者への連絡調整  
等生活に必要な援助

## 4. 防災計画

DAISUKI 防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年 2 回実施する。

所 長	総指揮（防火管理責任者）
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
世話人	救助担当・消火担当

## 5. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当 生活支援員：山口 寛孝 042-480-0231

苦情解決責任者 所長：内田 喜則 042-486-1022（法人本部） を置く

## 6. メンバーから受領する費用

指定共同生活援助事業に係る利用料は、各区市町村長が定める基準額によるものとし、当該指定共同生活援助が法定代理受領のサービスであるときは、厚生労働大臣が定める基準額の 1 割の額とする。ただし、各区市町村長が定める月額負担上限額の範囲内とする。また、日常にかかる経費は次のように定める。

食材料費（朝食 300 円、昼食 300 円、夕食 600 円）

家賃：42,000 円 光熱水費、日用品費、雑費など実費

## 7. 職員名簿

職 名	氏 名	資 格
所 長 (管理者) B 型職業指導員と兼務	内田 喜則	
生活支援員 (サービス管理責任者)	山口 寛孝	ホームヘルパー 2 級 精神保健福祉士 介護福祉士
世話人	三宅 八江子	ホームヘルパー 1 級 介護福祉士 介護支援専門員



世話人	桜井 洋子	ホームヘルパー 2 級 介護福祉士
世話人	小島良太	
世話人	新井久美子	
生活支援員	有海直美	介護福祉士

## 8. 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかないます。

## 9. 研修計画

調布市社会福祉事業団の研修・グループホーム連絡会主催の研修・東京都主催の研修などに参加します。援助技術の専門性を高める事を目的として、研修会等に積極的に参加します。法人の取り組みにも参加します。

## V 共同生活援助グループホームDAISUKIパンプキンの運営

所在地 東京都調布市染地2-27-6

利用定員 5名 区分6：1名、区分5：2名、区分3：2名

職員数

- 一 所 長（管理者） 1名（常勤）
- 二 サービス管理責任者 1名（常勤）
- 三 生活支援員 7名（常勤1名・非常勤6名）
- 四 世話人 5名（非常勤）

### 1. 事業運営基本計画

指定共同生活援助の提供に当たっては、メンバーが地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、メンバーの身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の援助、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

### 2. メンバーの処遇

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と社会生活力の向上に努める。



### 3. 事業内容

- (1) メンバーに対する相談
- (2) 食事、入浴の提供
- (3) 健康管理
- (4) 金銭管理の援助
- (5) 余暇活動の支援
- (6) 職場、家庭等関係者への連絡調整  
等生活に必要な援助

### 4. 防災計画

DAISUKI パンプキン防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施する。

所 長 総指揮（防火管理責任者）  
生活支援員 救助担当・消火担当・連絡・報告担当  
世話人 救助担当・消火担当

### 5. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当 生活支援員：山口 寛孝 042-480-0231

苦情解決責任者 所長：内田 喜則 042-486-1022（法人本部） を置く

### 6. メンバーから受領する費用

指定共同生活援助事業に係る利用料は、各区市町村長が定める基準額によるものとし、当該指定共同生活援助が法定代理受領のサービスであるときは、厚生労働大臣が定める基準額の1割の額とする。ただし、各区市町村長が定める月額負担上限額の範囲内とする。また、日常にかかる経費は次のように定める。

食材料費（朝食300円、昼食300円、夕食600円）

家賃：61,200円 水光熱・電話・jcom費、日用品費、事務用品費など実費

### 7. 職員名簿

職 名	氏 名	資 格
所 長 (管理者) B型職業指導員と兼務	内田 喜則	
生活支援員 (サービス管理責任者)	山口 寛孝	ホームヘルパー2級 精神保健福祉士 介護福祉士
世話人(兼務)	三宅 八江子	ホームヘルパー1級 介護福祉士 介護支援専門員
世話人(兼務)	桜井洋子	ホームヘルパー2級 介護福祉士
世話人(兼務)	有海直美	介護福祉士
世話人	織田麗子	



世話人	高橋由美子	介護福祉士
生活支援員	原田美由紀	
生活支援員	小林千穂	
生活支援員	師井佳子	介護福祉士
生活支援員	平野紀子	
生活支援員	来田めぐみ	
生活支援員	上田早苗	
看護師（兼務）	上田砂恵子	看護師

## 8. 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかいます。

## 9. 研修計画

調布市社会福祉事業団の研修・グループホーム連絡会主催の研修・東京都主催の研修などに参加します。援助技術の専門性を高める事を目的として、研修会等に積極的に参加します。法人の取り組みにも参加します。

## VI その他の事業・活動

### 1. 障害者の社会参加を支援する活動

#### (1) 交流活動（年間を通して随時）

四季折々の行事で障害者と市民とが交流する機会を設けます。

### 2. 広報・情報提供活動

#### (1) 会報の発行等

会報を発行、配布することで広く法人の活動を知ってもらえるようにします。

#### (2) 情報提供活動

ホームページを活用し、法人のリアルタイムな情報を提供できるようにします。

### 3. 市民参加型事業・活動の開発と企画・実施

#### (1) 「それはおしゃれなコンサート（第27回）」の実施

日時：2020年1月11日(土)会場：調布市文化会館たづくり くすのきホール

障害の有無にかかわらず、身近な地域で本格的なコンサートを共に楽しむことを目的としたコンサートを開催します。



#### 4. 協力・連携事業

- (1) バザーの実施
- (2) 文化的活動の実施
- (3) 他団体等への支援・協力活動の実施

### VII. 組織運営

#### 1. 組織運営

社会福祉事業「しごと場 大好き」・「カフェ 大好き」・グループホーム「DAISUKI」を運営する態勢を整えるとともに、事業・活動を円滑に進めるため、組織運営の確立を図ります。

- (1) 理事会、評議員会の開催 \*予定

第1回理事会	6月 1日 (土)	第1回評議員会	6月22日 (土)
第2回理事会	8月31日 (土)		
第3回理事会	11月16日 (土)		
第4回理事会	1月25日 (土)		
第5回理事会	3月 7日 (土)	第2回評議員会	3月28日 (土)

※評議員会は、上記2回の他、必要に応じて理事会が招集する。

- (2) 事務局の確立による事務処理の円滑化

事務部門の体制の確立を目指して、職務分掌の洗い出し、年間のスケジュール化等を行い、法人監査が滞りなく終わるように未整備部分の手直しを行います。

- (3) 市民の参画を得るための委員会の確立

バザーやコンサートなど一般市民と共に行事を企画段階から作り上げていきます。

- (4) 理事・監事、評議員の研修実施

適正な運営をするため、役員の研修の機会を設けます。

#### 2. 財源の開拓・確保

長期的な展望をもった事業・活動を運営していくために、自主財源の充実に努めます。

- (1) バザー等の計画的実施

一般市民の方々から提供いただいた品物をリサイクル販売するチャリティーバザーを実施します。



2019年度 予算内訳表

2019年3月時点 (単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
収 入	就労支援事業収入	21,239,000		7,215,000	14,024,000	
	受託事業収入	7,837,000		4,082,000	3,755,000	
	喫茶事業収入	5,404,000			5,404,000	
	自主製品事業収入	494,000		310,000	184,000	
	菓子、調理製造事業収入	3,250,000		1,399,000	1,851,000	
	アイスクリーム製造事業収入	2,889,000		944,000	1,945,000	
	簡易受託受注事業収入	1,005,000		430,000	575,000	
	仕入れ商品売り上げ収入	360,000		50,000	310,000	
	障害福祉サービス等事業収入	151,580,000		63,550,000	52,850,000	35,180,000
	自立支援給付費収入	131,113,000		56,713,000	42,900,000	31,500,000
	介護給付費収入	56,713,000		56,713,000		
	訓練等給付費収入	74,400,000			42,900,000	31,500,000
	利用者負担金収入	237,000		237,000		
	特定費用収入	3,680,000				3,680,000
	その他の事業収入	16,550,000		6,600,000	9,950,000	
	補助金事業収入	16,550,000		6,600,000	9,950,000	
	借入金利息補助金収入	262,000		112,000	150,000	
	経常経費寄附金収入	3,020,000	2,000,000	445,000	575,000	
	受取利息配当金収入	95,000	88,000	2,000	3,000	2,000
	その他の収入	4,339,000	2,300,000	880,000	1,020,000	139,000
	受入研修費収入	38,000		20,000	18,000	
	利用者等外給食費収入	142,000		10,000		132,000
	雑収入	4,158,000	2,300,000	850,000	1,002,000	6,000
	雑収入	4,158,000	2,300,000	850,000	1,002,000	6,000
	事業活動収入計(1)	180,535,000	4,388,000	72,204,000	68,622,000	35,321,000
支 出	人件費支出	116,030,000		56,017,000	36,305,000	23,708,000
	職員給料支出	53,362,000		25,397,000	23,795,000	4,170,000
	職員賞与支出	10,413,000		5,000,000	5,000,000	913,000
	非常勤職員給与支出	36,210,000		17,400,000	3,500,000	15,310,000
	退職給付支出	1,245,000		1,000,000	200,000	45,000
	法定福利費支出	14,800,000		7,220,000	4,310,000	3,270,000
	事業費支出	12,783,000		2,823,000	6,163,000	3,797,000
	給食費	2,065,000				2,065,000
	保健衛生費支出	220,000		75,000	145,000	
	被服費支出	30,000			30,000	
	教養娯楽費支出	1,300,000		450,000	800,000	50,000
	日用品費	120,000				120,000
	水道光熱費支出	4,195,000		835,000	2,150,000	1,210,000
	燃料費支出	100,000			100,000	
	消耗器具備品費支出	965,000		130,000	555,000	280,000
	保険料支出	999,000		400,000	527,000	72,000
	賃借料支出	342,000		88,000	254,000	
	教育指導費支出	380,000		150,000	230,000	
	葬祭費支出	20,000		10,000	10,000	
	車輛費支出	1,900,000		630,000	1,270,000	
	雑支出	55,000		5,000	50,000	
	地域交流費支出	92,000		50,000	42,000	
	事務費支出	24,447,000	2,856,000	3,896,000	9,879,000	7,816,000
	福利厚生費支出	194,000		82,000	75,000	37,000
	職員被服費支出	50,000			50,000	
	旅費交通費支出	325,000	300,000	10,000	15,000	
	研修研究費支出	194,000		180,000	14,000	
	事務消耗品費支出	862,000		409,000	266,000	187,000
	印刷製本費支出	239,000	210,000	10,000	19,000	
	修繕費支出	521,000		261,000	260,000	
	通信運搬費支出	983,000		308,000	407,000	268,000
	広報費支出	195,000	10,000	80,000	105,000	
	業務委託費支出	5,475,000		1,200,000	4,275,000	
	その他の委託費支出	5,475,000		1,200,000	4,275,000	
	手数料支出	383,000	5,000	120,000	234,000	24,000
	保険料支出	65,000	65,000			
	土地・建物賃借料支出	10,687,000		648,000	2,839,000	7,200,000
	租税公課支出	1,392,000	100,000	342,000	950,000	
	保守料支出	356,000	11,000	145,000	200,000	
	渉外費支出	10,000			10,000	
	諸会費支出	44,000	5,000	10,000	29,000	
	雑支出	2,322,000	2,000,000	91,000	131,000	100,000
	雑支出(事務)	2,322,000	2,000,000	91,000	131,000	100,000
	就労支援事業支出	21,239,000		7,215,000	14,024,000	
	就労支援事業販売原価支出	21,239,000		7,215,000	14,024,000	
就労支援事業支出	21,239,000		7,215,000	14,024,000		
支払利息支出	262,000		112,000	150,000		
その他の支出	8,000		3,000	5,000		
利用者等外給食費支出	8,000		3,000	5,000		
事業活動支出計(2)	174,769,000	2,856,000	70,066,000	66,526,000	35,321,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	5,766,000	1,532,000	2,138,000	2,096,000	0	



2019年度 予算内訳表

2019年3月時点 (単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
施設整備等による収支	収入					
	施設整備等収入計(4)					
	設備資金借入金元金償還支出	1,540,000		1,540,000		
	固定資産取得支出	1,137,000		588,000	549,000	
	器具及び備品取得支出	684,000		135,000	549,000	
	ソフトウェア取得支出	453,000		453,000		
	固定資産除却・廃棄支出	1,547,000			1,547,000	
ソフトウェア除却・廃棄支出	1,547,000			1,547,000		
施設整備等支出計(5)	4,224,000		2,128,000	2,096,000		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 4,224,000		△ 2,128,000	△ 2,096,000		
その他の活動による収支	収入					
	その他の活動収入計(7)					
	積立資産支出					
	設備等整備積立資産支出					
	その他の活動による支出	10,000		10,000		
	長期前払費用支出	10,000		10,000		
	その他の活動支出計(8)	10,000		10,000		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 10,000		△ 10,000			
予備費支出(10)						
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	1,532,000	1,532,000	0		0	
前期末支払資金残高(12)	71,101,243		30,096,243	41,005,000	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	72,633,243	1,532,000	30,096,243	41,005,000	0	



# 一年間の活動日誌

## 2018年4月1日～2019年3月31日

### 法人本部の活動

- 4  
12 グループホームプロジェクト①  
18 第3期将来構想プロジェクト⑬  
21 会報発送〈No.157〉

- 6  
2 理事会①  
3 グループホームプロジェクト③G.H内見  
18 事務局会議②  
21 将来構想プロジェクト⑭  
23 評議員会①・会報発送〈No.158〉



- 8  
5 暑気払い 主催：支える会  
9 グループホームプロジェクト④  
11 夏季休業（～15日）  
16 将来構想プロジェクト⑮  
25 会報発送〈No.159〉  
28 事務局会議④

- 10  
5 バザープロジェクト②  
17 コンサートプロジェクト②  
20 おやじの会研修 於：宮城県（福）はらから福祉会  
24 将来構想プロジェクト⑰  
26 バザープロジェクト③  
27 会報発送〈No.160〉  
30 事務局会議⑥



- 12  
8 第4回将来構想拡大プロジェクト  
15 会報発送〈No.161〉・忘年会  
第三者評価聞き取り調査  
19 グループホーム移転プロジェクト②  
29 冬季休業（～1月3日）

- 2  
2 第26回餅つき会  
5 コンサートプロジェクト⑤  
9 第26回それはおしゃなコンサート於：調布市たづくりくすのきホール  
13 将来構想プロジェクト⑱  
16 会報発送〈No.162〉  
26 事務局会議⑧



### しごと場大好き

- 4  
2 通所式・しごと場国領開所式・お花見  
4 職員会議  
5 個別面談開始  
10 しごと場健康診断①・下半期特別ボーナス支給  
11 個別支援計画会議  
16 社会体験活動-買物・リスクマネジメント委員会①  
18 ケース会議（以降毎週水曜日定例開催）  
21 ファミリー・イーターヨーカード販売会（～22日）  
23 社会体験活動-グループ活動  
26 調布市福祉作業所等連絡会代表者会議総会  
29 第42回 大好き市



- 5  
10 グループホームプロジェクト②  
19 調布を耕す会を支える会 総会  
コンサートプロジェクト①  
21 事務局会議①

- 7  
1 グループホームDAISUKIパンキン開所  
28 おやじの会見学会  
30 事務局会議③



- 9  
7 バザープロジェクト①  
8 理事会②  
21 将来構想プロジェクト⑯  
25 バザープロジェクト②  
28 事務局会議⑤

- 11  
9 バザープロジェクト④  
10 理事会③  
17 ジャングルバザー2018 於：調布駅前広場  
21 将来構想プロジェクト⑲  
27 事務局会議⑦  
29 グループホーム移転プロジェクト①



- 1  
14 成人を祝う会 主催：こぶしの会  
19 理事会④  
22 コンサートプロジェクト③  
24 グループホーム移転プロジェクト③  
29 コンサートプロジェクト④

- 3  
1 コンサートプロジェクト⑥  
2 理事会⑤  
18 事務局会議⑨  
23 評議員会②  
27 第3期将来構想プロジェクト最終会⑳  
30 花見会 主催：支える会



- 5  
1 ドクターの健康チェック  
2 職員会議  
12 アースデイ出店  
13 親子まつり出店  
14 遠足 於：狭山公園  
19 ファミリー・バルコ前販売会出店（～20日）  
共生スポーツ祭り出店（～20日）  
21 運動会練習・メンバー会議  
臨時リスクマネジメント委員会  
研修-福祉職員スタートアップ研修（1名参加・6/4・6/11）  
22 健康診断②・三菱研修生受入れ（・24日）  
26 「しごと場大好き国領」内覧会  
28 運動会練習・リスクマネジメント委員会②



6

- 1 運動会(調布市福祉作業所等連絡会主催)
- 2 環境フェア出店
- 3 社会体験活動-グループ活動
- 5 健康診断③
- 6 職員会議
- 10 希望の家地域のつどい出店
- 11 音楽療法
- 18 社会体験活動-カラオケ・メンバー会議  
リスクマネジメント委員会④
- 19 ドクターの健康チェック
- 22 内部研修-障害特性(自閉症)について(16名参加)
- 23 ファミリー
- 25 社会体験活動-町田市民プール
- 26 研修-初任者研修(1名参加・27日)



8

- 1 職員会議
- 2 調布市福祉作業所等連絡会事務局会議
- 3 杉森まつり出店(～4日)
- 4 研修-福祉職員初任者研修(2名参加)
- 4 クレストンホテル販売
- 6 社会体験活動-町田市民プール
- 7 フードドライブ参加
- 11 夏期休暇(～15日)
- 17 リスクマネジメント委員会⑤
- 20 町田市民プール
- 22 社会福祉士実習生見学来所
- 23 調布市福祉作業所等連絡会代表者会議
- 24 内部研修-通所メンバーの障害特性について①(17名参加)
- 25 ファミリー・観光フェスタ出店(～26日)
- 27 社会体験活動-アクアブルー多摩プール  
研修-福祉職員スタートアップ研修(1名参加・9/3・9/18)
- 28 ドクターの健康チェック
- 31 非常食試食会



10

- 1 慈恵医大実習生受入れ(～5日)
- 山田元子展「トントン つくる からだ ドキドキ」見学・月見会
- 研修-施設長の為の財務マネジメント中級過程(1名参加)
- 3 職員会議・老人クラブ連合会芸術大会出店
- 4 「お話し聞きますよ」(第三者委員)
- 6 組紐サークル展実演
- 研修-発達障害者支援の基本について(7名参加)
- 10 上半期特別ボーナス支給  
第三者評価メンバー聞き取り調査(～11日)
- 13 ぶちぼわんバザー出店  
研修-障害のある方が地域でより良く暮らす為に(1名参加)
- 15 リサイクル連絡会研修旅行 於:茨城県エフピコダックス
- 16 ドクターの健康チェック
- 21 わくわく広場まつり出店
- 22 社会体験活動-買物
- 23 リスクマネジメント委員会⑦
- 24 研修-SST実務研修(1名参加)
- 27 ファミリー・花火鑑賞会
- 29 社会体験活動-グループ活動



12

- 1 福祉まつり出店
- 3 大掃除
- 5 職員会議
- 8 調布まつり出店
- 10 社会体験活動-買物・メンバー会議  
冬期ボーナス支給
- 11 交換研修受入れ(希望の家)
- 12 研修-知的障害者の高齢化と認知症状(3名参加)
- 13 研修-行動援護(14・18・19日)(2名参加)
- 14 調布市福祉作業所等連絡会忘年会
- 15 ファミリー・忘年会
- 17 クリスマス会・リスクマネジメント委員会⑧
- 18 研修-経営管理(・1/23・1/29・2/5)(1名参加)
- 25 大掃除(・27日)
- 28 納会カラオケ
- 29 冬季休暇(～1月3日)

2

- 4 生け花体験(国際ソロプチミスト東京-調布)・防災訓練
- 7 フードドライブ参加
- 6 職員会議
- 10 研修-調布福祉実践フォーラム(3名参加)
- 12 ごみカレンダー配布(～28日)
- 13 調布市バラアート展出品(～21日)
- 14 研修-食品表示法講習会(1名参加)
- 16 ファミリー
- 18 調布市福祉作業所等連絡会事務局会議  
リスクマネジメント委員会⑩
- 19 職員健康診断(～3/18日)
- 23 冬合宿 於:富士見高原スキー場(～24日)
- 26 調布市福祉作業所等連絡会-市長との懇談



7

- 2 学習会・福祉喫茶見学・メンバー会議
- 4 職員会議
- 7 七夕まつり出店
- 10 市民プールジェラート出張販売(～8/23)  
夏期ボーナス支給
- 13 ボーナス飲み会
- 14 ファミリー
- 20 夏合宿(～22日)於:那須塩原
- 21 けやきの森学園夏祭り出店
- 23 夏合宿代休
- 26 調布市民生委員22名見学
- 30 社会体験活動-町田市民プール  
リスクマネジメント委員会④
- 31 「お話し聞きますよ」(第三者委員)  
みんなを守ろう委員会(虐待防止委員会)①



9

- 1 第7回「ほっとハート」三市合同販売会in調布
- 3 音楽療法・防災訓練
- 5 職員会議
- 7 みんなを守ろう委員会(虐待防止委員会)②
- 9 ほりて～ぶらん
- 10 誕生会
- 11 研修-食品の適正表示推進者育成講習会(1名参加)
- 20 調布市福祉作業所等連絡会代表者会議
- 22 ファミリー
- 23 ジャイアンツ球場「調布市民の日」出店  
研修-ダウン症のある方の思春期(4名参加)
- 24 スクラムフェスタ出店
- 25 リスクマネジメント委員会⑥
- 29 桐朋学園文化祭出店(～30日)  
F C東京青赤祭り出店



11

- 1 交換研修(1名参加・まなびや)
- 3 布田天神いりどりマルシェ出店
- 7 職員会議・調布市監査
- 8 個別面談開始(～30日)
- 12 音楽療法  
交換研修(1名参加・れいんぼー)
- 13 インフルエンザ予防接種  
支援計画会議(～14日)
- 17 ジャングルバザー出店  
バルコ前販売会出店(～18日)
- 19 社会体験活動-グループ活動
- 20 トワル写真撮影
- 21 内部研修-通所メンバーの障害特性について②(17名参加)
- 23 ゲゲゲ忌出店
- 24 ファミリー
- 25 ほりて～ぶらん
- 26 紅葉会



1

- 4 仕事始め
- 9 職員会議
- 10 調布市福祉作業所等連絡会事務局会議
- 11 リスクマネジメント委員会⑨
- 12 ほりて～ぶらん
- 17 交換研修(1名参加・すまいる)  
内部研修-知的障害者支援に必要な知識修得に向けて(18名参加)
- 19 ファミリー
- 20 研修-親の会議演説「金銭トレーニング」(4名参加)
- 21 社会体験活動-グループ活動  
市役所ロビー展(～25日)
- 22 「お話し聞きますよ」(第三者委員)
- 24 交換研修(1名参加・ファーストステップ)
- 27 調布市民駅伝出店
- 28 音楽療法・交換研修(1名参加・クッキングハウス)
- 29 リスクマネジメント委員会⑩  
ドクターの健康チェック
- 31 調布市作業所等連絡会代表者会議

3

- 1 曼珠苑出店(～5日)  
みんなを守ろう委員会(虐待防止委員会)③
- 5 ドクターの健康チェック
- 6 職員会議
- 8 ごみカレンダー配布(～12日)
- 11 社会体験活動-グループ活動
- 14 支援計画会議①
- 15 けやきの森学園卒業式出席
- 18 音楽療法
- 20 支援計画会議②
- 21 2018年度総括会議
- 23 ファミリー・第三者評価報告会
- 24 ほりて～ぶらん・バラ駅伝出店
- 25 カラオケ・メンバー会議・誕生会  
リスクマネジメント委員会⑫





## Cafe大好き

2019年度 活動報告



### 4 ギャラリー企画「アトリエMAKO(フォーアート)作品展」

- 6 やさしい写真教室
- 10 下半期特別ボーナス支給



### 5 ギャラリー企画「小野牧場展」

- 9 「アイスの日」特別メニュー販売
- 11 やさしい写真教室

### 6 ギャラリー企画「ふおとさーくる調布」

- 8 やさしい写真教室
- 11 らっきょう漬け(こぶしの会)
- 16 カフェ大好き2周年セール(～17日)
- 27 リニューアルプロジェクト①

### 7 ギャラリー企画「ミックスリーブス 手しごと展」

- 6 やさしい写真教室
- 全国喫茶コーナー交流会実行委員会
- 10 夏期ボーナス支給
- 20 夏合宿(～22日) 於: 那須塩原



### 8 ギャラリー企画「組みひも展」

- 2 学生体験実習受入れ
- 3 やさしい写真教室
- 4 クレスタンホテル「カレーフェア&福祉作業所販売会」出店
- 11 夏期休業(～15日)
- 19 組み紐ワークショップ
- 28 「ジェラートの日」特別メニュー販売
- 29 全国喫茶コーナー交流会実行委員会

### 9 ギャラリー企画「雨倉充作品展(油絵)」

- 7 やさしい写真教室
- 12 リニューアルプロジェクト②
- 19 リニューアルプロジェクト③
- 22 ワークショップ『なんでもコラージュ』



### 10 ギャラリー企画「ICHIGO作品展」

- 3 講座「おいしいコーヒーの淹れ方」  
全国喫茶コーナー交流会実行委員会
- 4 多摩川小学校まち探検受入れ
- 10 リニューアルプロジェクト④  
上半期特別ボーナス支給
- 12 やさしい写真教室  
防災訓練(避難所・避難経路確認)
- 31 下石原地域のつどい出店  
リニューアルプロジェクト⑤

### 11 ギャラリー企画「愛染てらにしびーズ展」

- 2 やさしい写真教室
- 11 みだしなみ講座(喫茶コーナー交流会)
- 17 ジングルバザー出店
- 23 おしゃれなバザー 主催: こぶしの会



### 12 ギャラリー企画「ミックスリーブス+SPARK STONE展」

- 1 福祉まつり出店
- 7 やさしい写真教室
- 8 冬期ボーナス支給
- 19 リニューアルプロジェクト⑥
- 28 大掃除・納会カラオケ
- 29 冬季休業(～1月3日)

### 1 ギャラリー企画「あおいろのせかい展」

- 11 やさしい写真教室  
交換研修受入れ(希望の家深大寺)
- 16 リニューアルプロジェクト⑦
- 30 交換研修受入れ(はあと・ふる・えりあ)



### 2 ギャラリー企画「ファーストステップ展」

- 8 やさしい写真教室
- 14 リニューアルプロジェクト⑧
- 23 冬合宿 於: 富士見高原スキー場(～24日)
- 27 リニューアルプロジェクト⑨

### 3 ギャラリー企画「ICHIGO作品展」

- 1 やさしい写真教室
- 7 リニューアルプロジェクト⑩
- 13 リニューアルプロジェクト⑪
- 29 防災訓練





## 2019年度 役員体制

カレ大だい

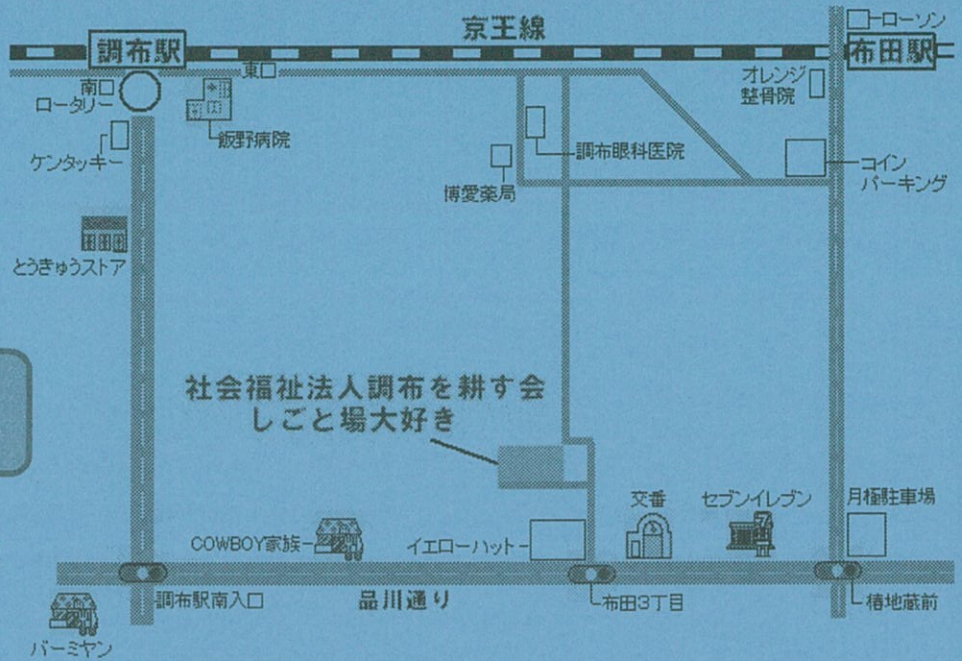
2019年8月現在

役職名	氏名	所属等
理事長	原 良男	民生児童委員・保護司
理事	杉本 勝	民生児童委員
理事	増淵 貞夫	利用者保護者
理事	山口 祐二	布田西部自治会長
理事	西尾 宅司	利用者保護者
理事	朝日 敏幸	調布市社会福祉協議会職員
理事	亀田 良一郎	「しごと場大好き」施設長
評議員	石井 和男	弁護士
評議員	市村 研一	調布市社会福祉協議会職員
評議員	宮崎 豊和	会社役員
評議員	荘司 信芳	布田西部自治会会計
評議員	深見 圭子	「しごと場大好き」組みひも講師
評議員	普後 均	利用者保護者
評議員	長谷川 廉	医師
評議員	渡辺 榮	利用者保護者（こぶしの会）
評議員	尾崎 洋子	利用者保護者（こぶしの会）
監事	大村 洋	地域福祉関係者
監事	堀内 悟	利用者保護者

### ■事務局スタッフ

役職名	氏名	所属等
事務局長	内田 喜則	グループホームDAISUKI所長
事務局員	後藤 朋子	Café大好き 店長





## しごと場大好き

東京都調布市布田 3-20-1

tel042-486-1022 fax042-486-0232

社会福祉法人調布を耕す会  
しごと場大好き

京王相模原線 ← 至橋本 京王多摩川 → 至調布

交番

ローソン

駅前広場

肉のはせ川

山水亭

和食の店

Café  
大好き

こちら

銀行

郵便

\*駐車場はありません  
お車はご遠慮ください

## カフェ大好き

東京都調布市多摩川 5-7-4 京王多摩川 88ビル 1F

tel/fax042-481-3933

調布市立  
第二小学校

ファミリーマート

国領4丁目信号

タイヤ館

山梨中央  
銀行

調布・布田

品川通り

国領7丁目

小僧寿し

↓  
多摩川住宅

## しごと場大好き 国領

東京都調布市国領町 7-17-26

tel/fax042-444-3733

しごと場大好き  
国領





2019年8月

---

## 社会福祉法人 調布を耕す会

住所 東京都調布市布田3-20-1

TEL 042(486)1022 FAX 042(486)0232

✉ [tagayasukaijp@yahoo.co.jp](mailto:tagayasukaijp@yahoo.co.jp)

HP <http://www.tagayasukai.com>